

The background of the entire page is a high-contrast, black and white graphic. It features a series of sharp, angular lines that create a sense of depth and movement, resembling a stylized 'Z' or a series of parallel planes receding into the distance. The lines are rendered with a metallic, reflective texture, with highlights and shadows that give them a three-dimensional appearance. The overall effect is one of precision and speed, consistent with the 'Pro Series' branding.

ASRock®

PR4
PRO SERIES

B450 Pro4 R2.0

ユーザーマニュアル

バージョン 1.0

2020 年 10 月発行

Copyright©2020 ASRock INC. 無断複写・転載を禁じます。

著作権について:

当文書のいかなる部分も、ASRock の書面による同意なしに、バックアップを目的とした購入者による文書のコピーを除いては、いかなる形式や方法によっても、複写、転載、送信、または任意の言語へ翻訳することは禁じます。

当文書に記載されている製品名および企業名は、それぞれの企業の登録商標または著作物であることもあり、権利を侵害する意図なく、ユーザーの便宜を図って特定または説明のためにのみ使用されます。

免責事項:

当文書に記載されている仕様および情報は、情報提供のみを目的として付属されており、予告なく変更する場合があります。その整合性や正確性について、ASRock がなんらの確約をするものではありません。ASRock は、当文書での誤記や記載漏れについて一切の責任を負いかねます。

本文書の内容について、ASRock は、明示的にも黙示的にも、黙示的保証、商品適格性、または特定目的への適合性を含む、いかなる種類の保証もいたしません。

いかなる状況においても、たとえ ASRock が当文書や製品の欠陥や誤りに起因する損害の可能性を事前に知らされていたとしても、ASRock、取締役、役員、従業員、または代理人は、いかなる間接的、専門的、偶発的、または必然的な損害 (利益の損失、事業の損失、データの損失、事業の中断などを含む) への責任を負いかねます。



この装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は以下の 2 つの条件に従います:

- (1) 本装置は有害な干渉を発生しない。および
- (2) 本装置は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる。

米国カリフォルニア州のみ

このマザーボードに採用されたリチウム電池は、カリフォルニア州議会で可決されたベストマネジメントプラクティス (BMP) で規制される有害物質、過塩素酸塩を含んでいます。米国カリフォルニア州でリチウム電池を廃棄する場合は、関連する規制に従って行ってください。

「過塩素酸塩物質 - 特別な処理が適用される場合があります。詳しくは、www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate をご覧ください」

ASRock ウェブサイト : <http://www.asrock.com>

オーストラリアのみ

弊社の製品にはオーストラリア消費者法の下で除外できない保証が付いています。購入者は、重大な故障に対しては交換または返金、および、その他の合理的に予見可能な損失または損害に対しては補償を受ける権利を有します。また、製品が許容できる品質を満たさない場合、または、故障が重大な故障にあたらない場合は、購入者は製品を修理または交換する権利を有します。ご不明な点がありましたら ASRock までお問い合わせください：電話番号 +886-2-28965588 内線 123 (標準的な国際通話料金が適用されます)

HDMI® および HDMI ハイデフィニションマルチメディアインターフェース、ならびに HDMI のロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



内容

第 1 章 はじめに	1
1.1 パッケージの内容	1
1.2 仕様	2
1.3 マザーボードのレイアウト	7
1.4 I/O パネル	9
第 2 章 取り付け	11
2.1 CPU を取り付ける	12
2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける	14
2.3 メモリモジュール (DIMM) を取り付ける	22
2.4 前面パネルヘッダーを接続する	26
2.5 I/O パネルシールドを取り付ける	27
2.6 マザーボードを取り付ける	28
2.7 SATA ドライブを取り付ける	29
2.8 グラフィックスカードを取り付ける	31
2.9 周辺機器を接続する	33
2.10 電源コネクタを接続する	34
2.11 電源オン	35
2.12 ジャンパー設定	36
2.13 オンボードのヘッダーとコネクタ	37
2.14 CrossFireX™ と Quad CrossFireX™ オペレーションガイド	47
2.14.1 2 枚の CrossFireX™ 対応グラフィックスカードを取り付ける	47
2.14.2 ドライバのインストールとセットアップ	49

2.15	M.2_SSD (NGFF) モジュール取り付けガイド (M2_1)	50
2.16	M.2_SSD (NGFF) モジュール取り付けガイド (M2_2)	53
第 3 章 ソフトウェアとユーティリティの操作		56
3.1	ドライバをインストールする	56
3.2	A-Tuning	57
3.2.1	A-Tuning をインストールする	57
3.2.2	A-Tuning を使用する	57
3.3	ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ)	60
3.3.1	UI 概要	60
3.3.2	Apps (アプリ)	61
3.3.3	BIOS & Drivers (BIOS とドライバ)	64
3.3.4	設定	65
3.4	ASRock Polychrome RGB	66
第 4 章 UEFI セットアップユーティリティ		69
4.1	はじめに	69
4.1.1	UEFI メニューバー	69
4.1.2	ナビゲーションキー	70
4.2	Main (メイン) 画面	71
4.3	OC Tweaker (OC 調整) 画面	72
4.4	Advanced (詳細) 画面	75
4.4.1	CPU Configuration (CPU 設定)	76
4.4.2	North Bridge Configuration (ノースブリッジ設定)	78
4.4.3	South Bridge Configuration (サウスブリッジ設定)	79

4.4.4	Storage Configuration (ストレージ設定)	80
4.4.5	Super IO Configuration (スーパー IO 設定)	81
4.4.6	ACPI Configuration (ACPI 設定)	82
4.4.7	Trusted Computing (トラステッド・コンピューティング)	83
4.4.8	AMD PBS	84
4.5	Tool (ツール)	85
4.6	Hardware Health Event Monitoring (ハードウェア ヘルス イベント監視) 画面	87
4.7	Security (セキュリティ) 画面	92
4.8	Boot (ブート) 画面	93
4.9	Exit (終了) 画面	96

第 1 章 はじめに

ASRock B450 Pro4 R2.0 マザーボードをお買い上げ頂きありがとうございます。
ASRock の製品は一貫した厳格な品質管理の下で製造されています。優れた品質と耐久性を兼ね備えつつ、優れたパフォーマンスを提供致します。

この文書の第 1 章と第 2 章には、マザーボードの説明とステップ毎のインストールガイドが記載されています。第 3 章には、ソフトウェアとユーティリティの操作ガイドが含まれています。第 4 章には、BIOS セットアップの設定ガイドが含まれています。



マザーボードの仕様と BIOS ソフトウェアは更新されることがあるため、このマニュアルの内容は予告なしに変更することがあります。このマニュアルの内容に変更があった場合には、更新されたバージョンは、予告なくアスロックのウェブサイトから入手できるようになります。このマザーボードに関する技術的なサポートが必要な場合には、ご使用のモデルについての詳細情報を、当社のウェブサイトで参照ください。ASRock のウェブサイトでは、最新の VGA カードおよび CPU サポート一覧もご覧になれます。ASRock ウェブサイト <http://www.asrock.com>。

1.1 パッケージの内容

- ASRock B450 Pro4 R2.0 マザーボード (ATX フォームファクター)
- ASRock B450 Pro4 R2.0 ユーザーマニュアル
- ASRock B450 Pro4 R2.0 サポート CD
- 1 x I/O パネルシールド
- 2 x シリアル ATA (SATA) データケーブル (オプション)
- 2 x M.2 ソケット用ねじ (オプション)

1.2 仕様

プラット
フォーム

- ATX フォームファクタ
- 固体コンデンサ設計

CPU

- AMD AM4 ソケット
- Digi Power design
- 10 電源フェーズ設計
- 105W 水冷 (Pinnacle Ridge) に対応。95W 水冷 (Summit Ridge) に対応。65W 水冷 (Raven Ridge) に対応

チップセット

- AMD Promontory B450

メモリ

- デュアルチャンネル DDR4 メモリ機能
 - 4 x DDR4 DIMM スロット
 - AMD Ryzen シリーズ CPU (Matisse) は、DDR4 3200/2933/2667/2400/2133 ECC および非 ECC、アンバッファードメモリに対応します *
 - AMD Ryzen シリーズ CPU (Pinnacle Ridge) は DDR4 3200+ (OC)/2933 (OC)/2667/2400/2133 ECC、および、ノン ECC、アンバッファードメモリに対応します。 *
 - AMD Ryzen シリーズ CPU (Picasso) は、DDR4 2933/2667/2400/2133 非 ECC、アンバッファードメモリに対応します *
 - AMD Ryzen シリーズ CPU (Summit Ridge) は DDR4 3200+ (OC)/2933 (OC)/2667/2400/2133 ECC、および、ノン ECC、アンバッファードメモリに対応します。 *
 - AMD Ryzen シリーズ CPU (Raven Ridge) は DDR4 3200+(OC)/2933/2667/2400/2133 ノン ECC、アンバッファードメモリに対応します。 *
- * Ryzen シリーズ CPU (Picasso と Raven Ridge) の場合、ECC は PRO CPU のみに対応します。
- * 詳細については、ASRock ウェブサイトのメモリーサポート一覧を参照してください。(http://www.asrock.com/)
- システムメモリの最大容量： 128 GB
 - Extreme Memory Profile (XMP) メモリモジュールに対応します
 - DIMM スロットに 15 μ ゴールドコンタクトを採用

拡張スロット AMD Ryzen シリーズ CPU (Matisse、Summit Ridge および Pinnacle Ridge)

- 2 x PCI Express 3.0 x 16 スロット (PCIe2 : x 16 モード、PCIe4 : x 4 モード) *

AMD Ryzen シリーズ CPU (Picasso、Raven Ridge)

- 2 x PCI Express 3.0 x 16 スロット (PCIe2 : x 8 モード、PCIe4 : x 4 モード) *

AMD Athlon シリーズ CPU

- 2 x PCI Express 3.0 x 16 スロット (PCIe2 : x 4 モード、PCIe4 : x 2 モード) *

* 起動ディスクとして NVMe SSD に対応

* M2_1 が使用されている場合は、PCIe4 は無効になります。

- 4 x PCI Express 2.0 x 1 スロット
- AMD Quad CrossFireX™ と CrossFireX™ をサポート **

** この機能に対応するのは Ryzen シリーズ CPU (Matisse、Summit Ridge、Pinnacle Ridge、Picasso および Raven Ridge) が搭載されている場合だけです。

グラフィックス

- AMD Radeon™ Vega シリーズグラフィックスを Ryzen シリーズ APU に統合 *

* 実際のサポートは CPU によって異なることがあります

- DirectX 12、Pixel Shader 5.0
- 共有メモリはデフォルトでは 2 GB に設定されています。最大共有メモリは 16 GB まで対応します。

* 最大共有メモリが 16 GB の場合は、32 GB のシステムメモリがインストールされていなければなりません。

- 3 つのグラフィックス出力オプション：D-Sub、HDMI、および、DisplayPort 1.2
- 3 台のモニターに対応
- HDMI 1.4 に対応、最大解像度 4K x 2K (4096 x 2160) @ 24 Hz / (3840 x 2160) @ 30 Hz
- DisplayPort 1.2 に対応、最大解像度 4K x 2K (4096 x 2160) @ 60 Hz
- D-Sub に対応、最大解像度 1920 x 1200 @ 60 Hz

- HDMI 1.4 ポートで、オートリップシンク、ディープカラー (12bpc)、xvYCC、および、HBR (高ビットレートオーディオ) に対応
(HDMI 対応モニターが必要です)
- HDMI 1.4 ポートと DisplayPort 1.2 ポートで HDCP 1.4 に対応
- HDMI 1.4 ポートと DisplayPort 1.2 ポートで 4K Ultra HD (UHD) 再生に対応

オーディオ

- 7.1 CH HD オーディオ、コンテンツプロテクション付き (Realtek ALC892/897 オーディオコーデック)
- サージ保護に対応

LAN

- PCIe x1 ギガビット LAN 10/100/1000 Mb/ 秒
- Realtek RTL8111H
- Wake-On-LAN (ウェイク オン ラン) に対応
- 雷 / 静電気放電 (ESD) 保護に対応
- エネルギー効率のよいイーサネット 802.3az をサポート
- PXE をサポート

リアパネル I/O

- 1 x PS/2 マウス / キーボードポート
- 1 x D-Sub ポート
- 1 x HDMI ポート
- 1 x DisplayPort 1.2
- 2 x USB 2.0 ポート (静電気放電 (ESD) 保護に対応)
- 1 x USB 3.2 Gen2 Type-A ポート (10 Gb/s) (静電気放電 (ESD) 保護に対応)
- 1 x USB 3.2 Gen2 Type-C ポート (10 Gb/s) (静電気放電 (ESD) 保護に対応)
- 4 x USB 3.2 Gen1 ポート (静電気放電 (ESD) 保護に対応)
- LED 付き 1 x RJ-45 LAN ポート (ACT/LINK LED と SPEED LED)
- HD オーディオジャック: ラインイン / フロントスピーカー / マイク

ストレージ

- 4 x SATA3 6.0 Gb/s コネクタ、RAID (RAID 0、RAID 1、RAID 10)、NCQ、AHCI およびホットプラグ機能に対応 *
- 2 x ASMedia ASM1061 の SATA3 6.0 Gb/s コネクタ、NCQ、AHCI、および、ホットプラグ機能に対応

* M2_2 は SATA3_3 及び SATA3_4 とレーンを共用します。

いずれかが使用されている場合は、その他は無効になります。

- 1 x Ultra M.2 ソケット (M2_1)、最大 Gen3 x 4 (32 Gb/s) までの M Key タイプ 2242/2260/2280 M.2 PCI Express モジュール (Matisse、Picasso、Summit Ridge、Raven Ridge、および、Pinnacle Ridge が搭載されている場合)、または、最大 Gen3 x 2 (16 Gb/s) までの M Key タイプ 2242/2260/2280 M.2 PCI Express モジュールに対応 (Athlon シリーズ APU が搭載されている場合) **
- 1 x M.2 ソケット (M2_2)、M Key タイプ 2230/2242/2260/2280/22110 M.2 SATA3 6.0 Gb/s モジュールと最大 Gen3 x 2 (16 Gb/s) までの M.2 PCI Express モジュールに対応 **

** M2_1 が使用されている場合は、PCIe4 は無効になります。

** 起動ディスクとして NVMe SSD に対応

** ASRock U.2 キットに対応

コネクタ

- 1 x COM ポートヘッダー
- 1 x TPM ヘッダー
- 1 x 電源 LED とスピーカーヘッダー
- 1 x RGB LED ヘッダー
- * 合計 12V/3A、36W までの LED ストリップに対応
- 1 x アドレスラブル LED ヘッダー
- * 合計 5V/3A、15W までの LED ストリップに対応
- 1 x AMD ファン LED ヘッダー
- * AMD ファン LED ヘッダーは、3A (36W) の最大負荷と 2.5M までの長さの LED ストリップに対応します。
- 1 x CPU ファンコネクタ (4 ピン)
- * CPU ファンコネクタは最大 1A (12W) の電力の CPU ファンに対応します。
- 1 x CPU/ ウォーターポンプファンコネクタ (4 ピン) (スマートファン速度制御)
- * CPU/ ウォーターポンプファンは最大 2A (24W) の出力のウォータークーラーに対応します。
- 3 x シャーシ / ウォーターポンプファンコネクタ (4 ピン) (スマートファン速度制御)
- * シャーシ / ウォーターポンプファンは最大 2A (24W) の出力のウォータークーラーに対応します。

* CPU_FAN2/WP、CHA_FAN1/WP、CHA_FAN2/WP および CHA_FAN3/WP は 3 ピンまたは 4 ピンファンが使用されているかどうかを自動検出できます。

- 1 x 24 ピン ATX 電源コネクタ
- 1 x 8 ピン 12V 電源コネクタ
- 1 x 前面パネルオーディオコネクタ
- 2 x USB 2.0 ヘッダー (4 つの USB 2.0 ポートに対応) (静電気放電 (ESD) 保護に対応)
- 1 x USB 3.2 Gen1 ヘッダー (2 つの USB 3.2 Gen1 ポートに対応) (静電気放電 (ESD) 保護に対応)

BIOS 機能

- AMI UEFI Legal BIOS、多言語 GUI サポート付き
- 「プラグアンドプレイ」をサポート
- ACPI 5.1 準拠のウェイクアップイベント
- ジャンパーフリーをサポート
- SMBIOS 2.3 サポート
- DRAM 電圧マルチ調整

ハードウェア モニター

- 温度センシング: CPU、マザーボード
- ファンタコメータ: CPU、CPU/ ウォーターポンプ、シャーシ / ウォーターポンプファン
- 静音ファン (CPU 温度に従ってシャーシファン速度を自動調整): CPU、CPU/ ウォーターポンプ、シャーシ / ウォーターポンプファン
- ファンマルチ速度制御: CPU、CPU/ ウォーターポンプ、シャーシ / ウォーターポンプファン
- 電圧監視: +12V、+5V、+3.3V、Vcore

OS

- Microsoft® Windows® 10 64-bit

認証

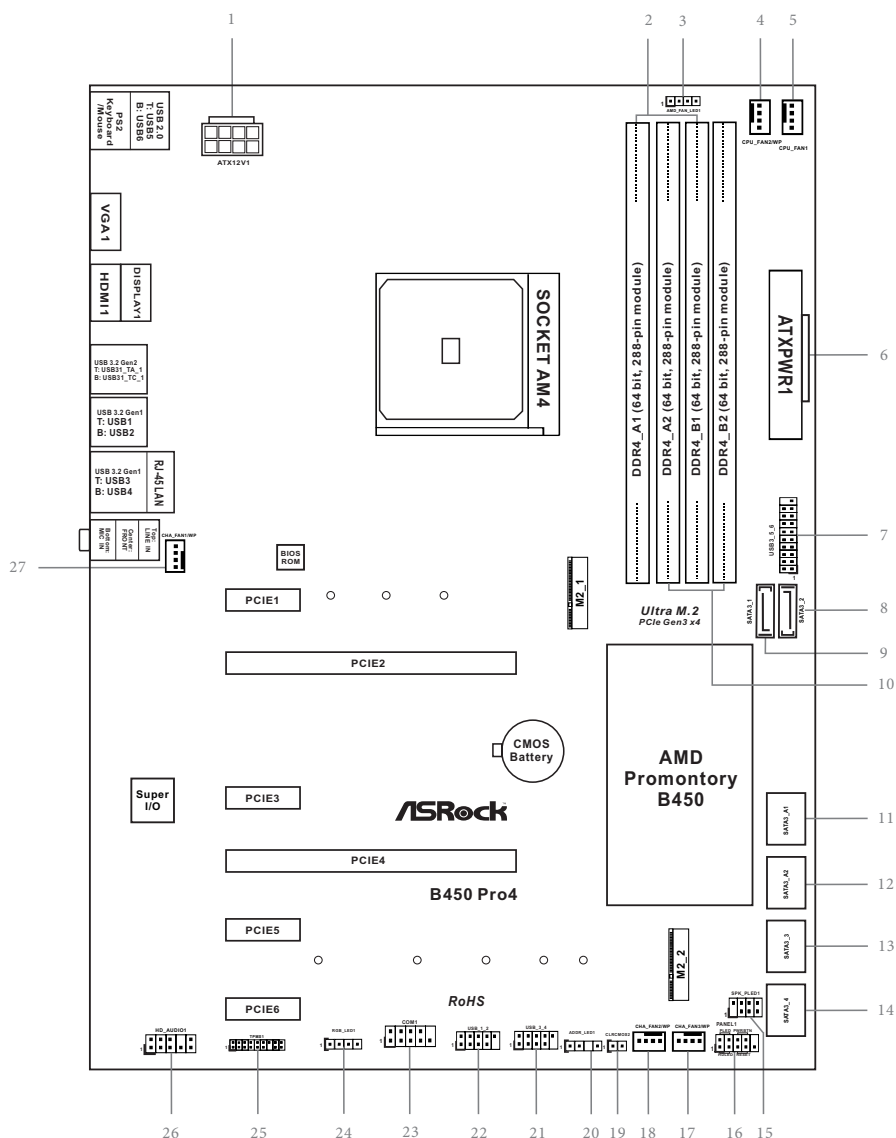
- FCC、CE
- ErP/EuP Ready (ErP/EuP 対応電源供給装置が必要です)

* 商品詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。<http://www.asrock.com>



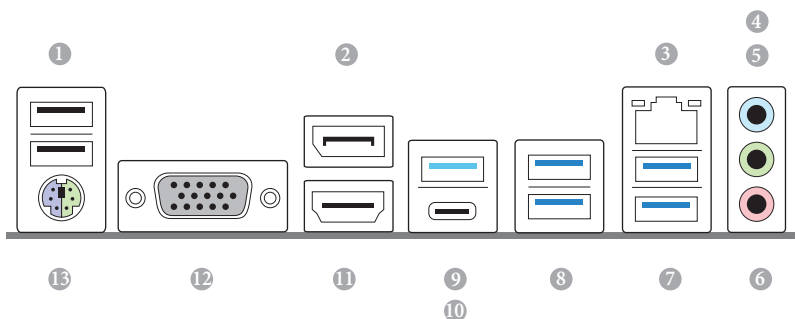
BIOS 設定の調整、アンタイドオーバークロックテクノロジーの適用、サードパーティのオーバークロックツールの使用などを含む、オーバークロックには、一定のリスクを伴いますのでご注意ください。オーバークロックするとシステムが不安定になったり、システムのコンポーネントやデバイスが破損することがあります。ご自分の責任で行ってください。弊社では、オーバークロックによる破損の責任は負いかねますのでご了承ください。

1.3 マザーボードのレイアウト



番号	説明
1	ATX 12V 電源コネクタ (ATX12V1)
2	2 x 288 ピン DDR4 DIMM スロット (DDR4_A1、DDR4_B1)
3	AMD ファン LED ヘッダー (AMD_FAN_LED1)
4	CPU ファン / ウォーターポンプファンコネクタ (CPU_FAN2/WP)
5	CPU ファンコネクタ (CPU_FAN1)
6	ATX 電源コネクタ (ATXPWR1)
7	USB 3.2 Gen1 ヘッダー (USB3_5_6)
8	SATA3 コネクタ (SATA3_2)
9	SATA3 コネクタ (SATA3_1)
10	2 x 288 ピン DDR4 DIMM スロット (DDR4_A2、DDR4_B2)
11	SATA3 コネクタ (SATA3_A1)
12	SATA3 コネクタ (SATA3_A2)
13	SATA3 コネクタ (SATA3_3)
14	SATA3 コネクタ (SATA3_4)
15	電源 LED とスピーカーヘッダー (SPK_PLED1)
16	システム/パネルヘッダー (PANEL1)
17	シャーシファン / ウォーターポンプファンコネクタ (CHA_FAN3/WP)
18	シャーシファン / ウォーターポンプファンコネクタ (CHA_FAN2/WP)
19	クリア CMOS ジャンパー (CLRCMOS2)
20	アドレスラベル LED ヘッダー (ADDR_LED1)
21	USB 2.0 ヘッダー (USB_3_4)
22	USB 2.0 ヘッダー (USB_1_2)
23	COM ポートヘッダー (COM1)
24	RGB LED ヘッダー (RGB_LED1)
25	TPM ヘッダー (TPMS1)
26	フロントパネルオーディオヘッダー (HD_AUDIO1)
27	シャーシファン / ウォーターポンプファンコネクタ (CHA_FAN1/WP)

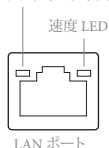
1.4 I/O パネル



番号	説明	番号	説明
1	USB 2.0 ポート (USB56)	8	USB 3.2 Gen1 ポート (USB3_12)
2	ディスプレイ ポート 1.4	9	USB 3.2 Gen2 Type-A ポート (USB31_TA_1)
3	LAN RJ-45 ポート *	10	USB 3.2 Gen2 Type-C ポート (USB31_TC_1)
4	ライン入力 (明るい青色) **	11	HDMI ポート
5	フロントスピーカー (ライム色) **	12	D-Sub ポート
6	マイクrophon (ピンク色) **	13	PS/2 マウス / キーボードポート
7	USB 3.2 Gen1 ポート (USB3_34)		

* 各 LAN ポートにそれぞれ 2 つの LED があります。LAN ポートの LED 表示については下の表を参照してください。

アクティビティ / リンク LED



アクティビティ / リンク LED		速度 LED	
状態	説明	状態	説明
消灯	リンクなし	消灯	10Mbps 接続
点滅	データアクティビティ	オレンジ色	100Mbps 接続
点灯	リンク	緑色	1Gbps 接続

**7.1 チャンネル設定のオーディオポートの機能:

ポート	機能
明るい青色 (リアパネル)	リアスピーカー出力
ライム色 (リアパネル)	フロントスピーカー出力
ピンク色 (リアパネル)	セントラル / サブウーファースピーカー出力
ライム色 (フロントパネル)	サイドスピーカー出力

第2章 取り付け

これは ATX フォームファクタのマザーボードです。マザーボードを取付ける前に、ケースに取付できるフォームファクター（サイズ）を確認し、マザーボードを取り付けることができることを確認してください。

取り付け前の注意事項

マザーボードコンポーネントを取り付けたり、マザーボードの設定を変更する前に、次の注意事項をよくお読みください。

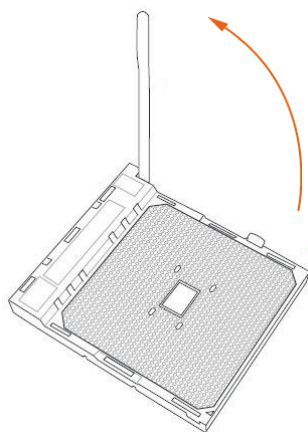
- マザーボードを設置 / 取り外しをする場合は、必ず電源コードが抜いてください。電源コードが繋がれたままで作業を行うと、怪我をしたり、マザーボードが破損する可能性があります。
- 静電気によってマザーボードの部品が破損することを防止するために、マザーボードはカーペットの上に置かないでください。また、静電気防止リストストラップを着用するか、または、部品を取り扱う前に静電気除去オブジェクトに触れてください。
- 基板の端をつかんでください。IC には触れないでください。
- マザーボードを取り外す場合は、取り外したマザーボードを接地した静電気防止パッドの上に置くか、商品に付属している袋に入れてください。
- マザーボードをシャーシに固定する為にねじを使う場合は、ねじを締め付けすぎないでください。ねじを締め付けすぎると、マザーボードが破損することがあります。

2.1 CPU を取り付ける

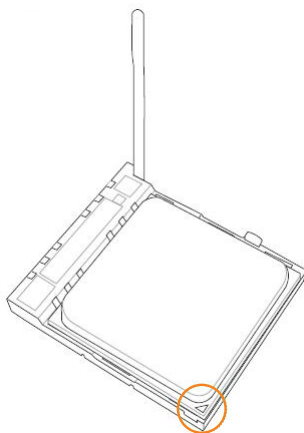


CPU を取り付ける前に、すべての電源ケーブルを取り外してください。

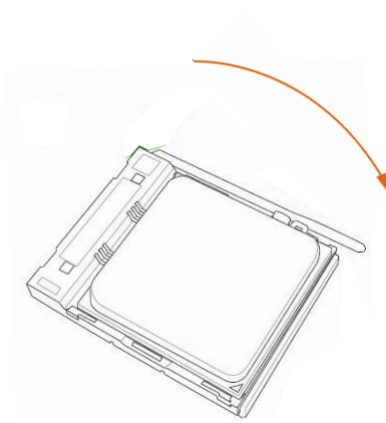
1



2



3



2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける

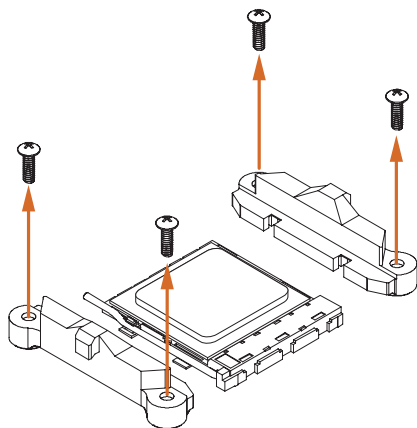
CPU をこのマザーボードに取り付けたら、放熱するために大型のヒートシンクと冷却ファンを取り付ける必要があります。放熱を改善するために、さらに、CPU とヒートシンクの間にサーマルグリースを塗布する必要があります。CPU とヒートシンクがしっかりと固定されており、正しく接触していることを確認してください。



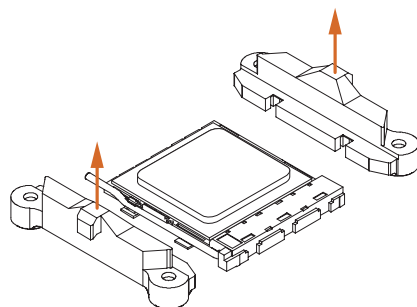
CPU またはヒートシンクを交換する前に、電源を切断するか、または、電源コードを取り外してください。

CPU ボックスクーラー SR1 を取り付ける

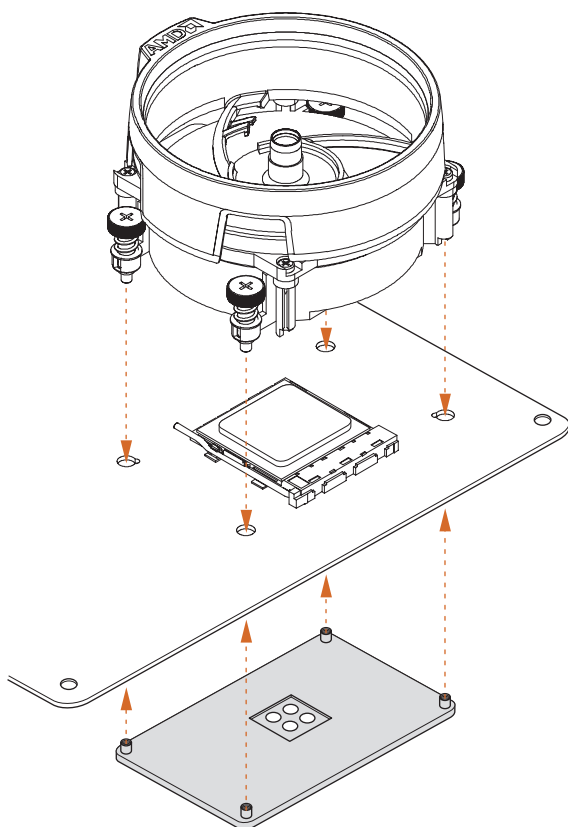
1



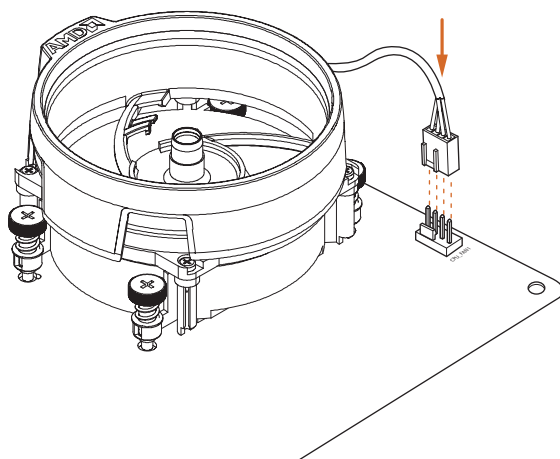
2



3

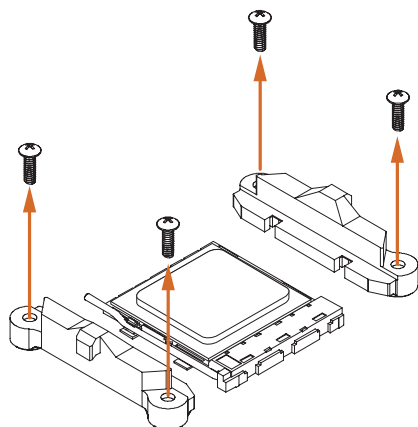


4

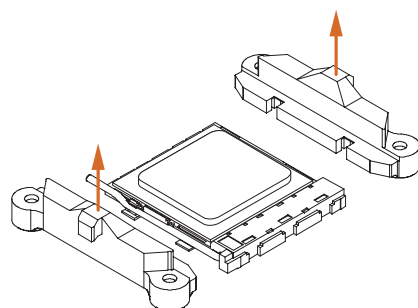


AM4 ボックスクーラー SR2 を取り付ける

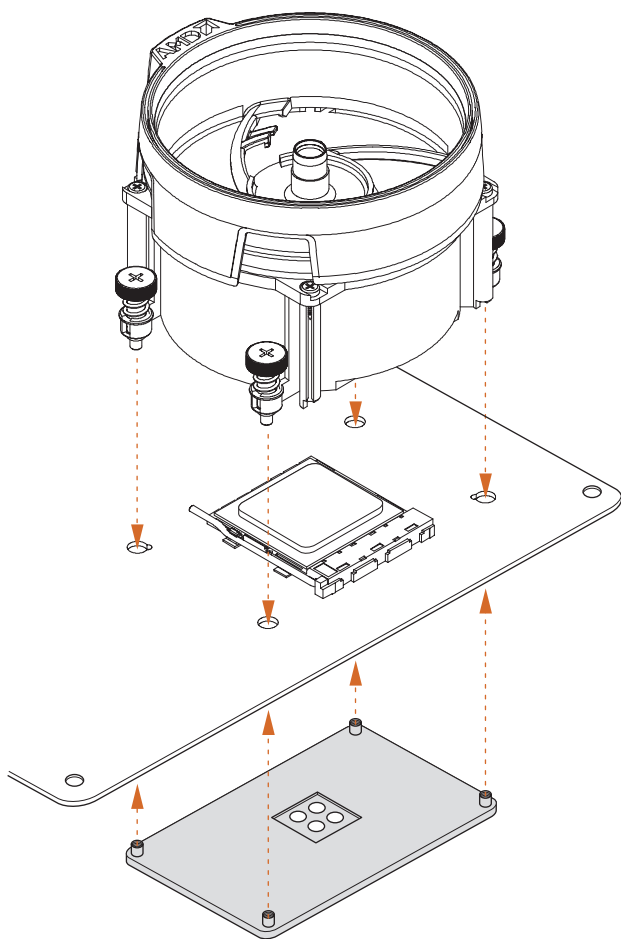
1



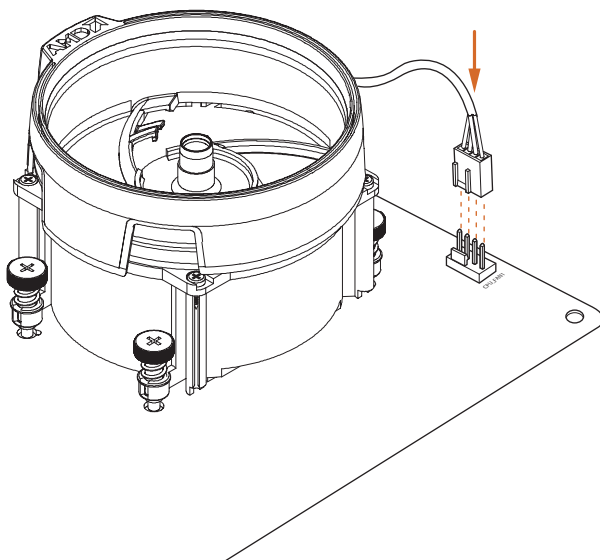
2



3



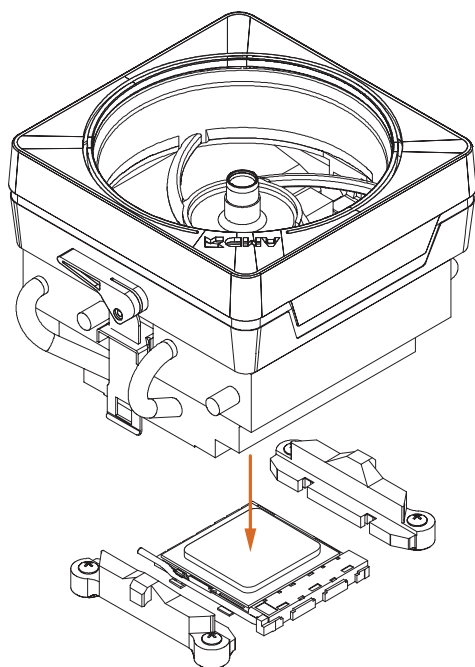
4



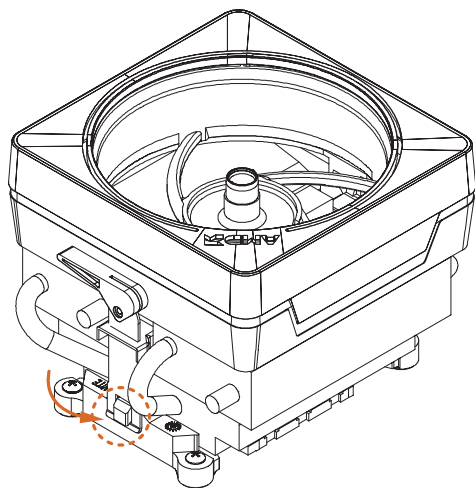
この図は参照用です。ヘッダーは、マザーボード上の異なる位置にある場合があります。

AM4 ボックスクーラー SR3 を取り付ける

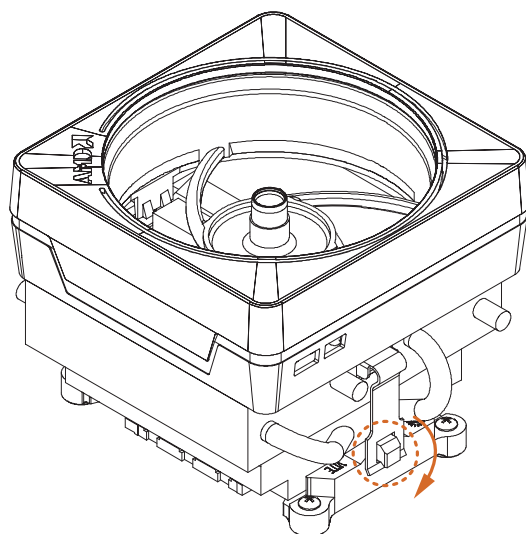
1



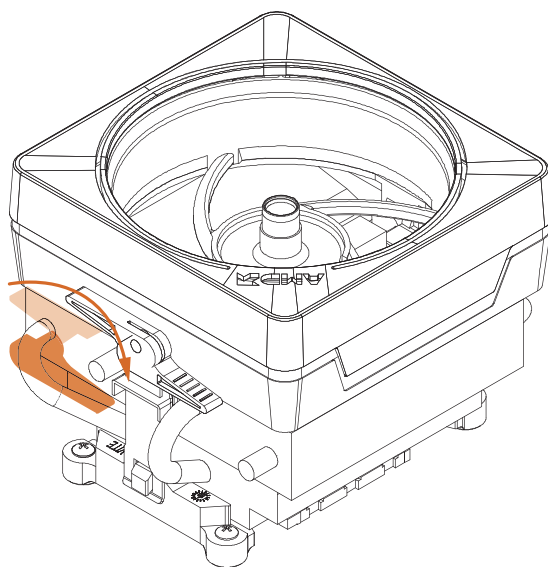
2



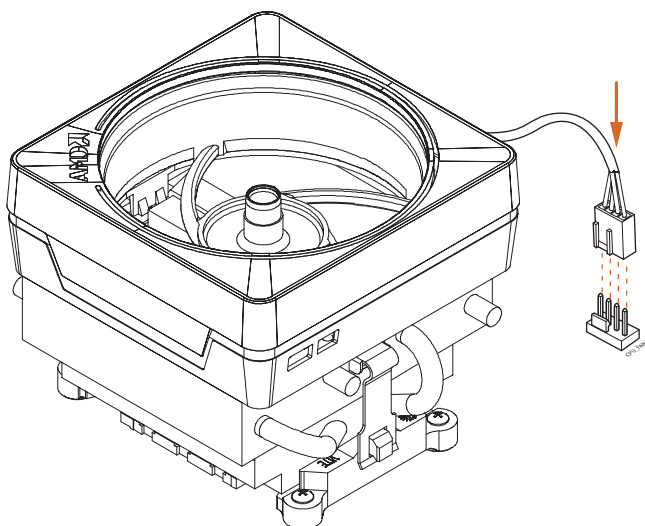
3



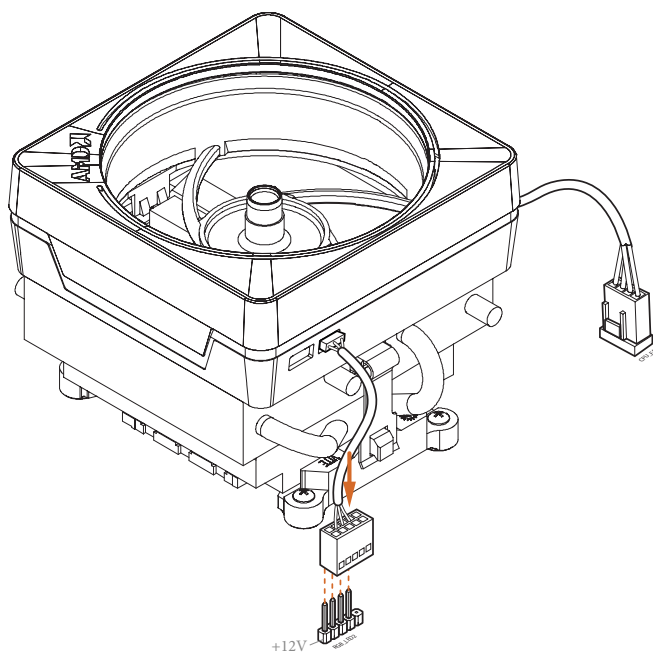
4



5



6



この図は参照用です。ヘッダーは、マザーボード上の異なる位置にある場合があります。

2.3 メモリモジュール (DIMM) を取り付ける

このマザーボードには 2 つの 288 ピン DDR4 (ダブルデータレート 4) DIMM スロットが装備されており、デュアルチャンネルメモリ機能に対応します。



1. デュアルチャンネルメモリ設定のために、同一 (同じブランド、同じ速度、同じサイズ、同じチップタイプ) の DDR4 DIMM を 1 組取り付ける必要があります。
2. メモリモジュールを 1 基しか取り付けしていない場合は、デュアルチャンネルメモリ技術を有効にできません。
3. DDR、DDR2 または DDR3 メモリモジュールは DDR4 スロットに取り付けることはできません。取り付けると、マザーボードと DIMM が損傷することがあります。

AMD の非 XMP メモリ周波数サポートについては

Ryzen シリーズ CPU (Matisse):

UDIMM メモリスロット				周波数 (Mhz)
A1	A2	B1	B2	
-	SR	-	-	3200
-	DR	-	-	3200
-	SR	-	SR	3200
-	DR	-	DR	3200
SR	SR	SR	SR	2933
SR/DR	DR	SR/DR	DR	2667
SR/DR	SR/DR	SR/DR	SR/DR	2667

Ryzen シリーズ CPU (Pinnacle Ridge):

UDIMM メモリスロット				周波数 (Mhz)
A1	A2	B1	B2	
-	SR	-	-	2933
-	DR	-	-	2933
-	SR	-	SR	2933
-	DR	-	DR	2933
SR	SR	SR	SR	2933
SR/DR	DR	SR/DR	DR	2667
SR/DR	SR/DR	SR/DR	SR/DR	2133-2400

Ryzen シリーズ CPU (Picasso):

UDIMM メモリスロット				周波数 (Mhz)
A1	A2	B1	B2	
-	SR	-	-	2933
-	DR	-	-	2667
-	SR	-	SR	2667
-	DR	-	DR	2400
SR	SR	SR	SR	2133
SR/DR	DR	SR/DR	DR	1866
SR/DR	SR/DR	SR/DR	SR/DR	1866

Ryzen シリーズ CPU (Summit Ridge):

UDIMM メモリスロット				周波数 (Mhz)
A1	A2	B1	B2	
-	SR	-	-	2667
-	DR	-	-	2667
-	SR	-	SR	2667
-	DR	-	DR	2667
SR	SR	SR	SR	2667
SR/DR	DR	SR/DR	DR	2667
SR/DR	SR/DR	SR/DR	SR/DR	2133-2400

Ryzen シリーズ CPU (Raven Ridge):

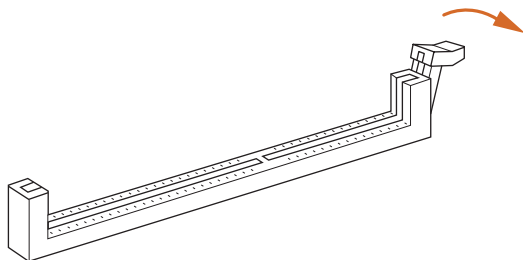
UDIMM メモリスロット				周波数 (Mhz)
A1	A2	B1	B2	
-	SR	-	-	2933
-	DR	-	-	2667
-	SR	-	SR	2667
-	DR	-	DR	2667
SR	SR	SR	SR	2667
SR/DR	DR	SR/DR	DR	2667
SR/DR	SR/DR	SR/DR	SR/DR	2133-2400

SR: シングルランク DIMM、1Rx4 または DIMM モジュールラベルの場合は 1Rx8
DR: デュアルランク DIMM、2Rx4 または DIMM モジュールラベルの場合は 2Rx8

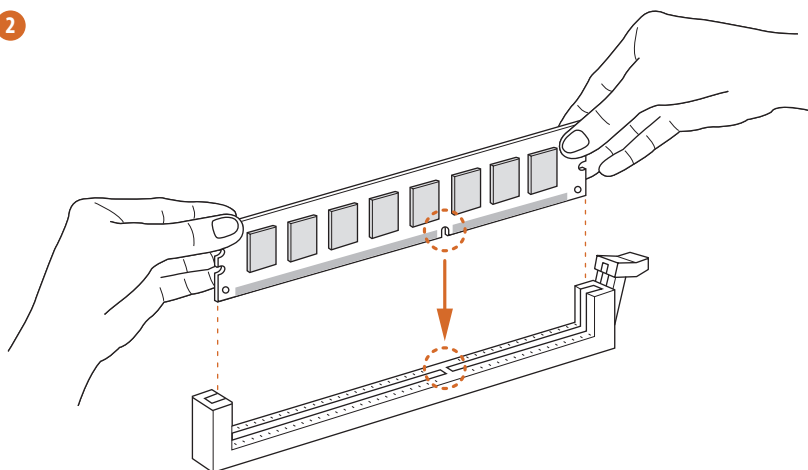


DIMM は 1 つの正しい方向にしか取り付けることができません。DIMM を間違った方向に無理に挿入すると、マザーボードと DIMM の損傷につながります。

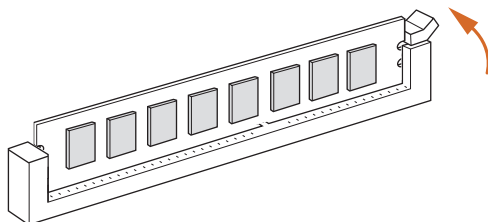
1



2

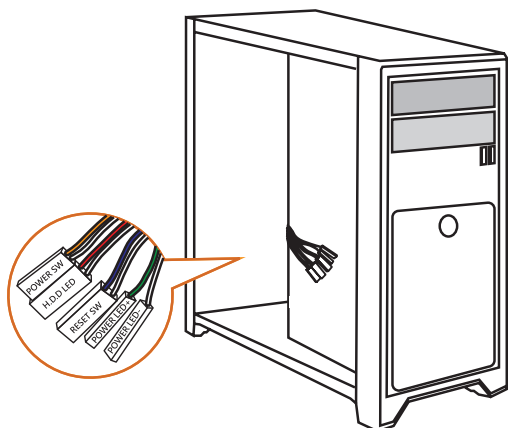


3

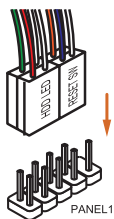


2.4 前面パネルヘッダーを接続する

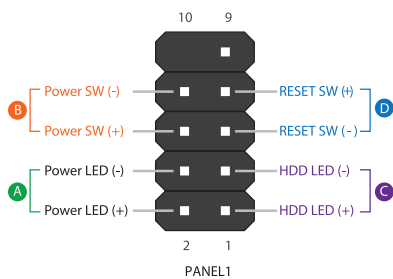
1



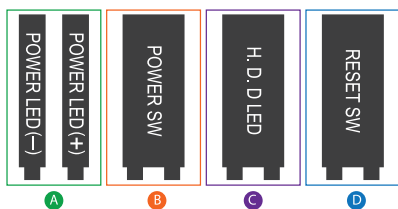
2



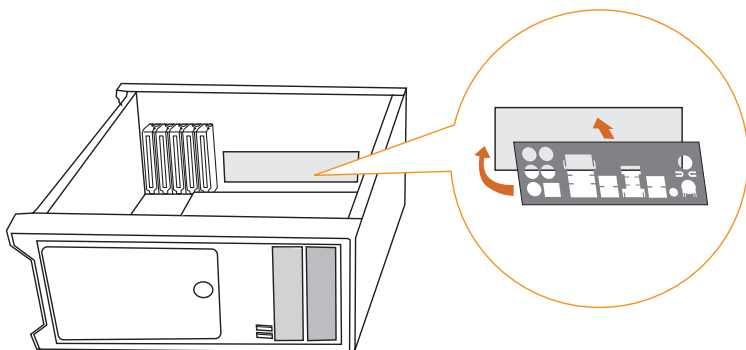
端子側



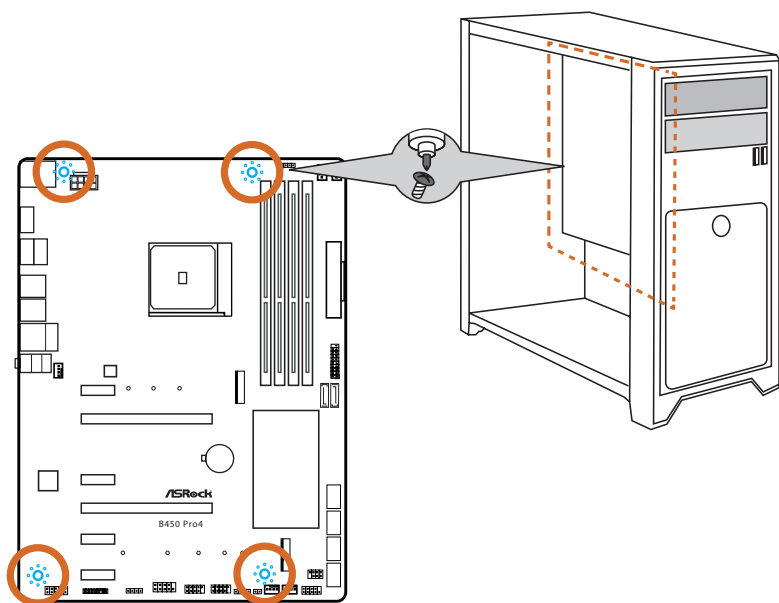
配線側



2.5 I/O パネルシールドを取り付ける



2.6 マザーボードを取り付ける

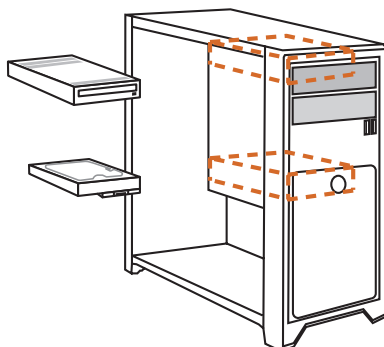


2.7 SATA ドライブを取り付ける

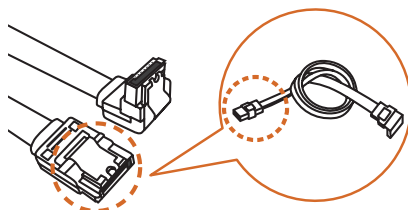
①

光学ドライブ

SATA ドライブ

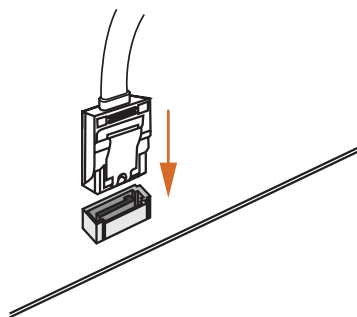


②

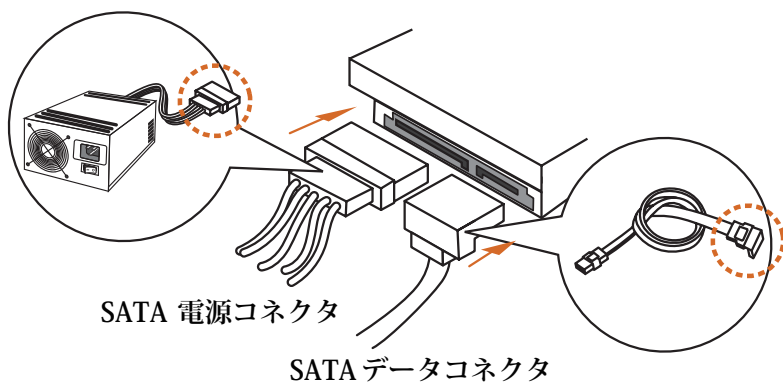


SATA データケーブル

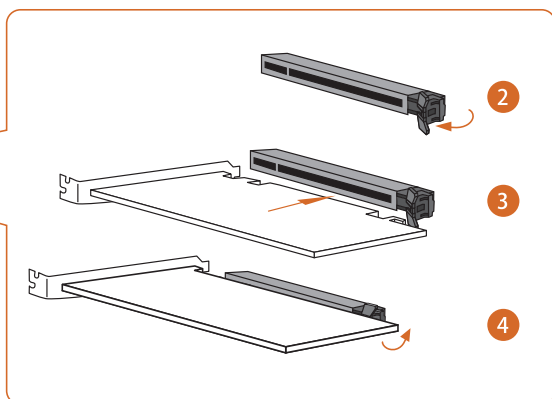
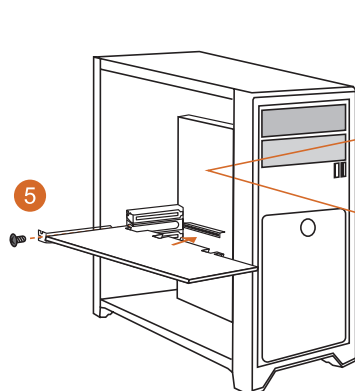
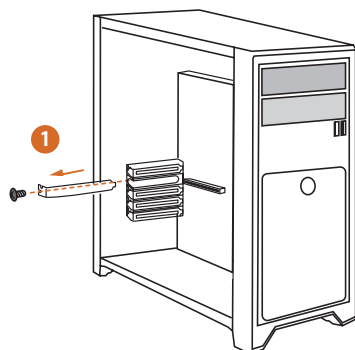
3



4



2.8 グラフィックスカードを取り付ける



拡張スロット (PCI Express スロット)

このマザーボードには 6 つの PCI Express スロットが装備されています。



拡張カードを取り付ける前に、電源供給が切断されていること、または、電源コードが取り外されていることを確認してください。取り付け作業を始める前に、拡張カードに添付されている文書を読んで、カード用に必要なハードウェア設定を行ってください。

PCIe スロット :

PCIe1 (PCIe 2.0 x1 スロット) は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。
PCIe2 (PCIe 3.0 x16 スロット) は PCI Express x16 レーン幅グラフィックスカード向けに使用します。PCIe3 (PCIe 2.0 x1 スロット) は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。

PCIe4 (PCIe 3.0 x16 スロット) は PCI Express x4 レーン幅グラフィックスカード向けに使用します。*

PCIe5 (PCIe 2.0 x1 スロット) は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。

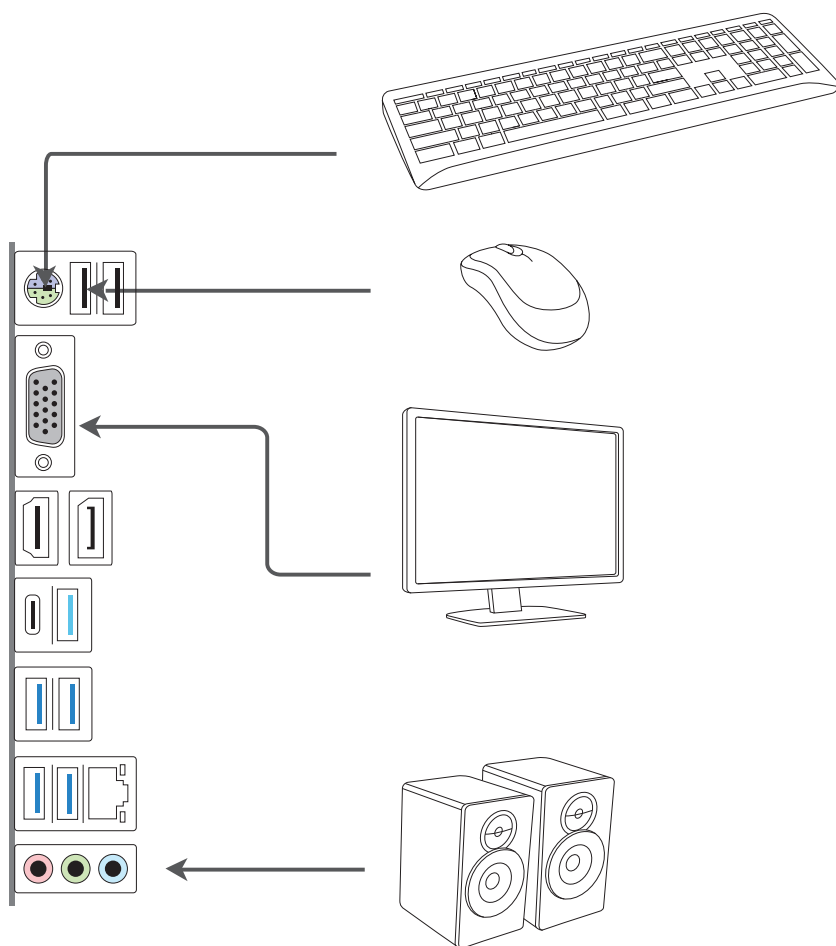
PCIe6 (PCIe 2.0 x1 スロット) は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。

* M2_1 が使用されている場合は、PCIe4 は無効になります。

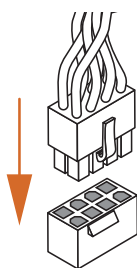
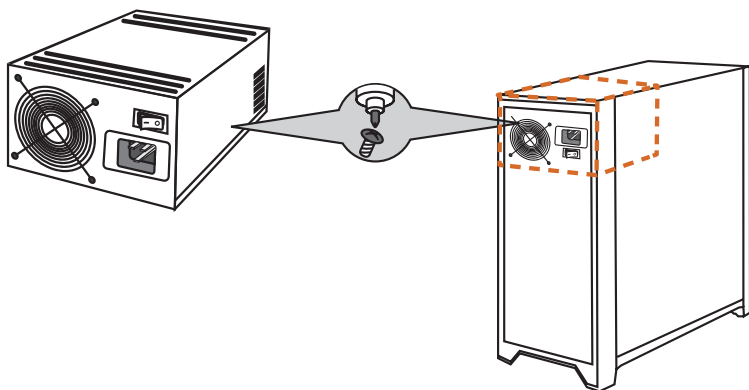
PCIe スロット設定

	PCIe2	PCIe4
Ryzen シリーズ CPUs (Matisse)	x16	x4
Ryzen シリーズ CPUs (Pinnacle Ridge)	x16	x4
Ryzen シリーズ CPUs (Summit Ridge)	x16	x4
Ryzen シリーズ CPUs (Picasso)	x8	x4
Ryzen シリーズ CPUs (Raven Ridge)	x8	x4
Athlon シリーズ CPUs	x4	x2

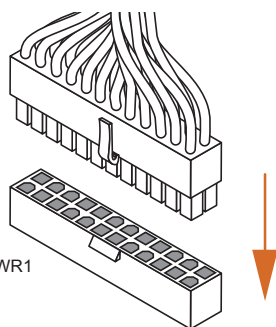
2.9 周辺機器を接続する



2.10 電源コネクタを接続する

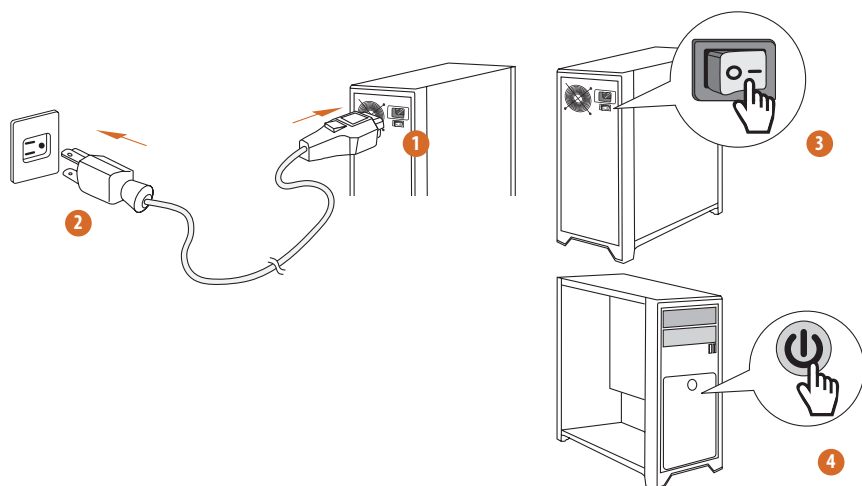


ATX12V1



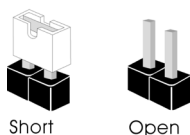
ATXPWR1

2.11 電源オン



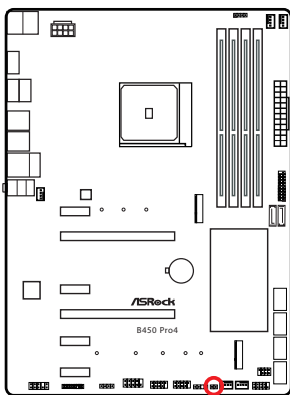
2.12 ジャンパー設定

このイラストは、ジャンパーの設定方法を示しています。ジャンパーキャップがピンに被さっていると、ジャンパーは「ショート」です。ジャンパーキャップがピンに被さっていない場合には、ジャンパーは「オープン」です。



クリア CMOS ジャンパ (CLRCMOS2) (p.7, No. 19 参照)

CLRCMOS2 を使って CMOS 内のデータをクリアできます。クリアして、デフォルト設定にシステムパラメーターをリセットするには、コンピューターの電源を切り、電源から電源コードを抜いてください。15 秒待ってから、ジャンパーキャップを使って CLRCMOS2 のピン 2 とピン 3 を 5 秒間ショートします。ただし、BIOS をアップデートした直後に、CMOS をクリアしないでください。BIOS をアップデート後、CMOS をクリアする必要がある場合は、最初にシステムを起動し、それから CMOS クリアアクションを行う前にシャットダウンしてください。パスワード、日付、時間、ユーザーのデフォルトプロファイルは、CMOS の電池を取り外した場合にのみ、消去されることにご注意ください。



CLRCMOS2



2 ピンジャンパー

2.13 オンボードのヘッダーとコネクタ

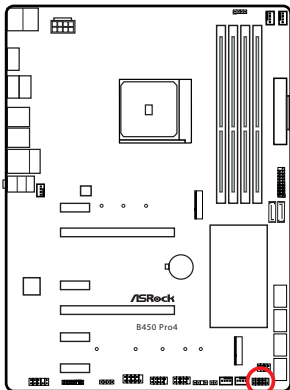


オンボードヘッダーとコネクタはジャンパーではありません。これらヘッダーとコネクタにはジャンパーキャップを被せないでください。ヘッダーおよびコネクタにジャンパーキャップを被せると、マザーボードに物理損傷が起こることがあります。

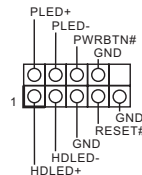
システムパネルヘッダー

(9 ピン PANEL1) (p.7、No. 16 参照)

電源スイッチを接続し、スイッチをリセットし、下記のピン割り当てに従って、シャーシのシステムステータス表示ランプをこのヘッダーにセットします。ケーブルを接続するときには、ピンの＋と－に気をつけてください。



パネル 1



PWRBTN (電源スイッチ):

シャーシ前面パネルの電源スイッチに接続してください。電源スイッチを使用して、システムをオフにする方法を設定できます。

RESET (リセットスイッチ):

シャーシ前面パネルのリセットスイッチに接続してください。コンピューターがフリーズしたり、通常の再起動を実行できない場合には、リセットスイッチを押して、コンピューターを再起動します。

PLED (システム電源 LED):

シャーシ前面パネルの電源ステータスインジケータに接続してください。システム稼働中は、LED が点灯します。システムが S1/S3 スリープ状態の場合には、LED は点滅を続けます。システムが S4 スリープ状態または電源オフ (S5) のときには、LED はオフです。

HDLED (ハードドライブアクティビティ LED):

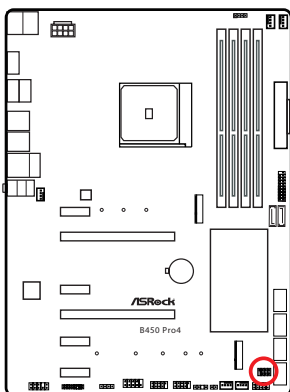
シャーシ前面パネルのハードドライブアクティビティ LED に接続してください。ハードドライブのデータを読み取りまたは書き込み中に、LED はオンになります。

前面パネルデザインは、シャーシによって異なることがあります。前面パネルモジュールは、主に電源スイッチ、リセットスイッチ、電源 LED、ハードドライブアクティビティ LED、スピーカーなどから構成されます。シャーシの前面パネルモジュールとこのヘッダーを接続する場合には、配線の割り当てと、ピンの割り当てが正しく合致していることを確かめてください。

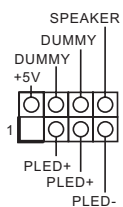
電源 LED とスピーカーヘッダー

(7 ピン SPK_PLED1) (p.7、No. 15 参照)

シャーシ電源 LED とシャーシスピーカーをこのヘッダーに接続してください。



SPK_PLED1



シリアル ATA3 コネクタ

垂直:

(SATA3_1) (p.7, No. 9 参照)

(SATA3_2) (p.7, No. 9 参照)

直角:

(SATA3_3) (p.7, No. 13 参照)

(SATA3_4) (p.7, No. 14 参照)

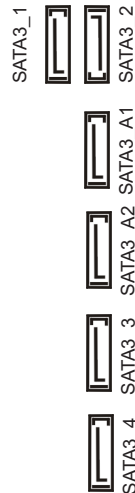
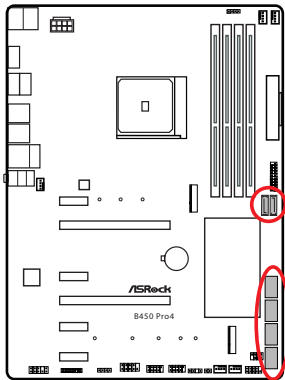
(SATA3_A1) (p.7, No. 11 参照)

(SATA3_A2) (p.7, No. 12 参照)

これら 6 つの SATA3 コネクタは、最高 6.0 Gb/ 秒のデータ転送速度で内部ストレージデバイス用の SATA データケーブルをサポートします。

* M2_2 は SATA3_3 及び SATA3_4 とレーンを共用します。いずれかが使用されている場合は、その他は無効になります。

* 起動時間を最小限に抑えるために、AMD SATA ポート (SATA3_1~4) をブータブルデバイス用に使用します。

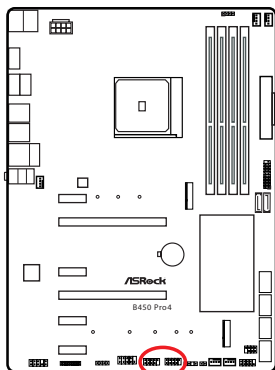


USB 2.0 ヘッダー

(9 ピン USB_1_2) (p.7、No. 22 参照)

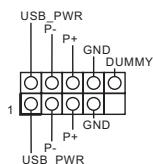
(9 ピン USB_3_4) (p.7、No. 21 参照)

このマザーボードには 1 つのヘッダーが装備されています。各 USB 2.0 ヘッダーは、2 つのポートをサポートできます。



USB_1_2

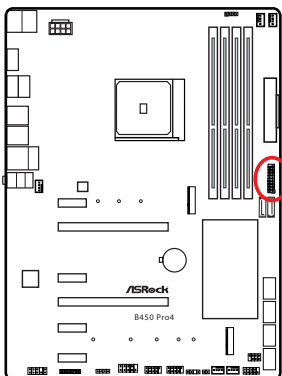
USB_3_4



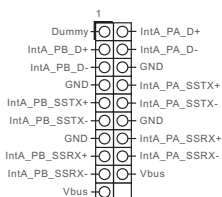
USB 3.2 Gen1 ヘッダー

(19 ピン USB3_5_6) (p.7、No. 7 参照)

このマザーボードには 1 つのヘッダーが装備されています。各 USB 3.2 Gen1 ヘッダーは、2 つのポートをサポートできます。



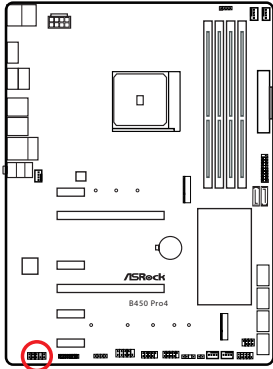
USB3_5_6



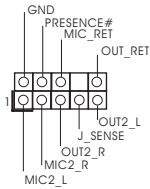
フロントパネルオーディオヘッダー

(9 ピン HD_AUDIO1) (p.7、No. 26 参照)

このヘッダーは、フロントオーディオパネルにオーディオデバイスを接続するためのものです。



HD_AUDIO1



1. ハイディフィニションオーディオはジャックセンシングをサポートしていますが、正しく機能するためには、シャーシのパネルワイヤーが HDA をサポートしている必要があります。お使いのシステムを取り付けるには、当社のマニュアルおよびシャーシのマニュアルの指示に従ってください。
2. AC'97 オーディオパネルを使用する場合には、次のステップで、前面パネルオーディオヘッダーに取り付けてください。
 - A. Mic_IN (MIC) を MIC2_L に接続します。
 - B. Audio_R (LIN) を OUT2_R に、Audio_L (LIN) を OUT2_L に接続します。
 - C. アース (GND) をアース (GND) に接続します。
 - D. MIC_RET と OUT_RET は、HD オーディオパネル専用です。AC'97 オーディオパネルではこれらを接続する必要はありません。
 - E. フロントマイクを有効にするには、Realtek コントロールパネルの「FrontMic」タブで、「録音音量」を調整してください。

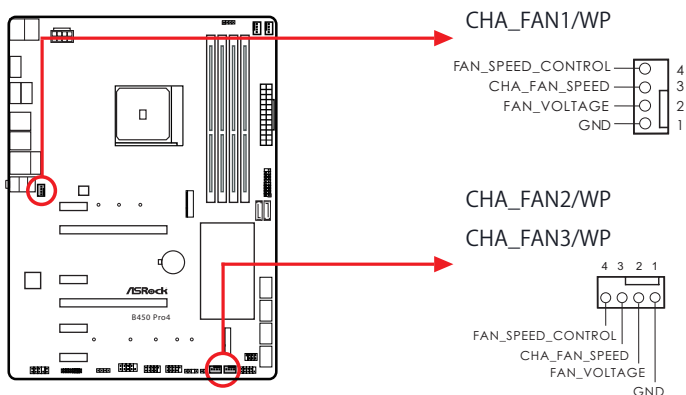
シャーシ (オプション) / ウォーターポンプファンコネクタ

(4 ピン CHA_FAN1/WP) (p.7、No. 27 参照)

(4 ピン CHA_FAN2/WP) (p.7、No. 18 参照)

(4 ピン CHA_FAN3/WP) (p.7、No. 17 参照)

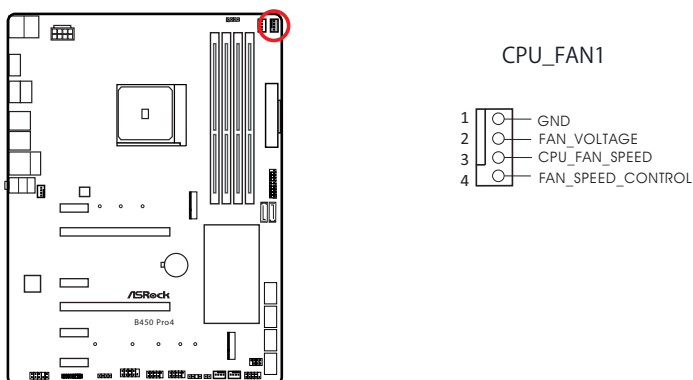
このマザーボードには 4 ピン水冷却 シャーシがコネクタ用に装備されています。
3 ピンのシャーシ水冷却ファンを接続する場合には、ピン 1-3 に接続してください。



CPU ファンコネクタ

(4 ピン CPU_FAN1) (p.7、No. 5 参照)

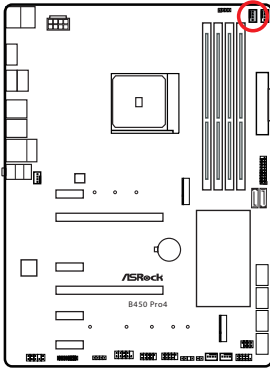
このマザーボードは 4 ピン CPU ファン (静音ファン) コネクタが装備されています。
3 ピンの CPU ファンを接続する場合には、ピン 1-3 に接続してください。



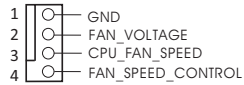
CPU ファン / ウォーターポンプファンコネクタ

(4 ピン CPU_FAN2/WP) (p.7、No. 4 参照)

このマザーボードは 4 ピン CPU ファン(静音ファン)コネクターが装備されています。3 ピンの CPU ファンを接続する場合には、ピン 1-3 に接続してください。



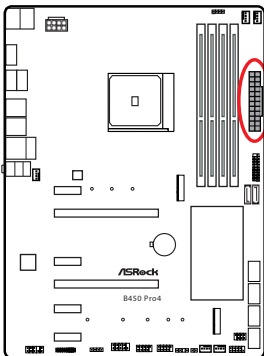
CPU_FAN2/WP



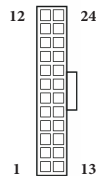
ATX 電源コネクタ

(24 ピン ATXPWR1) (p.7、No. 6 参照)

このマザーボードは 24 ピン ATX 電源コネクターが装備されています。20 ピンの ATX 電源を使用するには、ピン 1 と 13 番に合わせて接続してください。



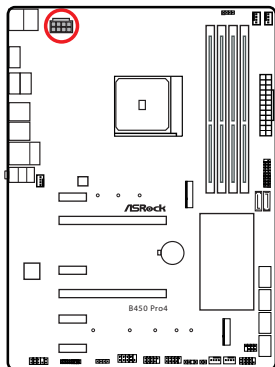
ATXPWR1



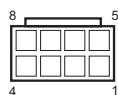
ATX 12V 電源コネクタ

(8 ピン ATX12V1) (p.7、No. 1 参照)

このマザーボードは 8 ピン ATX12V 電源コネクタが装備されています。
4 ピンの ATX 電源を使用するには、ピン 1 と 5 番に合わせて接続してください。



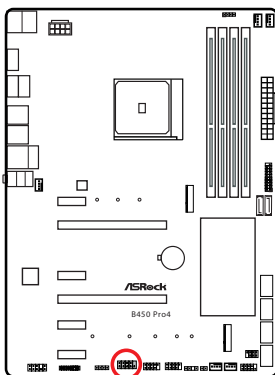
ATX12V1



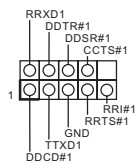
シリアルポートヘッダー

(9 ピン COM1) (p.7、No. 23 参照)

この COM1 ヘッダーはシリアルポートモジュールをサポートします。



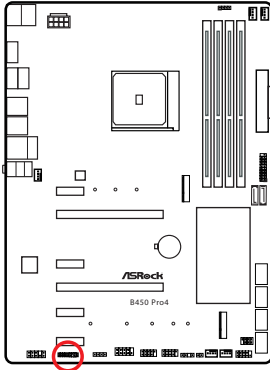
COM1



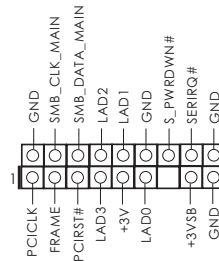
TPM ヘッダー

(17 ピン TPM1) (p.7、No. 25 参照)

このコネクタはトラステッドプラットフォームモジュール(TPM)システムをサポートし、鍵、デジタル証明書、パスワード、データを安全に保管することができます。TPMシステムはまた、ネットワークセキュリティを高め、デジタル証明書を保護し、プラットフォームの完全性を保証します。



TPM1



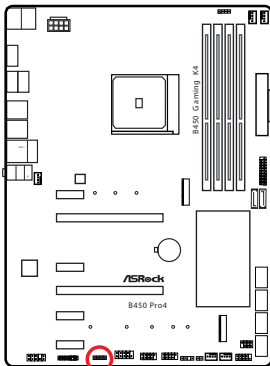
RGB LED ヘッダー

(4 ピン RGB_LED1) (p.7、No. 24 参照)

RGB LED ヘッダーは RGB LED 延長ケーブルの接続に使用され、これによりユーザーはさまざまな LED 証明効果から選択することができます。

注意：RGB LED ケーブルは間違った方向に取り付けけないでください。間違った方向に取り付けるとケーブルが破損することがあります。

* このヘッダーに関する詳細指示については、66 ページをご参照ください。



RGB_LED1

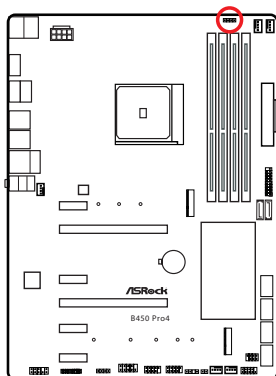


AMD ファン LED ヘッダー

(4 ピン AMD_FAN_LED1) (p.7, No. 3 参照)

AMD ファン LED ヘッダーを使用して AMD ヒートシンクに付属している RGB LED 延長ケーブルを接続すれば、ユーザーはさまざまな LED ライティング効果を選択できます。

注意：ファン LED ケーブルは間違った方向に取り付けしないでください。間違った方向に取り付けるとケーブルが破損することがあります。



AMD_FAN_LED1



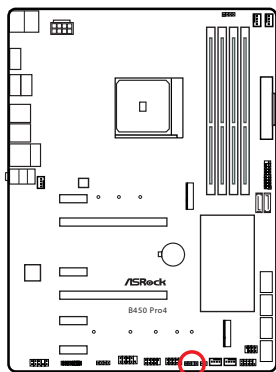
アドレスابل LED ヘッダー

(3 ピン ADDR_LED1) (p.7, No. 20 参照)

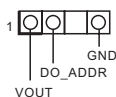
このヘッダーを使用して、アドレスابل LED 延長ケーブルを接続すれば、ユーザーは、さまざまな LED ライティング効果から選択できます。

注意：アドレスابل LED ケーブルは間違った方向に取り付けしないでください。間違った方向に取り付けると、ケーブルが破損することがあります。

* このヘッダーに関する詳細指示については、67 ページをご参照ください。



ADDR_LED1



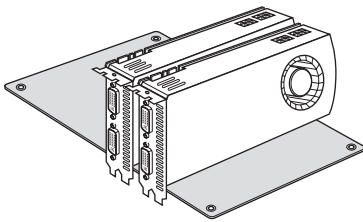
2.14 CrossFireX™ と Quad CrossFireX™ オペレーションガイド

このマザーボードは CrossFireX™ とクアッド CrossFireX™ に対応します。これらのテクノロジーを使用すれば、最大 2 枚の同一の PCI Express x16 グラフィックスカードを取り付けることができます。



1. AMD 認定されている同一の CrossFireX™ 対応グラフィックスカードだけを使用してください。
2. お使いのグラフィックスカードドライバが AMD CrossFireX™ テクノロジーに対応することを確認してください。AMD のウェブサイトからドライバをダウンロードします。www.amd.com
3. 電源供給ユニット (PSU) が少なくともシステムに必要な最小電源を供給できることを確認してください。AMD 認定 PSU を使用することを推奨します。詳細については AMD のウェブサイトを参照してください。
4. 12 パイプ CrossFireX™ エディションカードと 16 パイプカードを組み合わせる場合は、CrossFireX™ モードでは、両方のカードは 12 パイプカードとして動作します。
5. 異なる CrossFireX™ カードは異なる方法で CrossFireX™ を有効にする必要があります。詳しい取り付け説明については、AMD グラフィックスカードの取扱説明書を参照してください。

2.14.1 2 枚の CrossFireX™ 対応グラフィックスカードを取り付ける

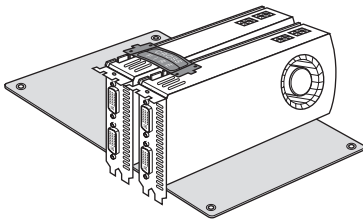


手順 1

1 枚のグラフィックスカードを PCIe2 スロットに挿入し、もう 1 枚のグラフィックスカードを PCIe4 スロットに挿入します。カードがスロットに正しく収まっていることを確認してください。

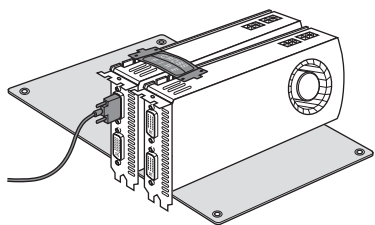


CrossFire ブリッジ



手順 2

CrossFire ブリッジをグラフィックスカードの一番上にある CrossFire ブリッジインターコネクト上に取り付けて 2 枚のグラフィックスカードを接続します。(CrossFire ブリッジは購入するグラフィックスカードに付属しています。このマザーボードのバンドル付属品ではありません。詳細についてはグラフィックスカードのベンダーまでお問い合わせください。)



手順 3

VGA/DVI/DP/HDMI ケーブルまたは DVI ケーブルを、PCI-E1 スロットに挿入したグラフィックスカードのモニターコネクタあるいは DVI コネクタに接続します。

2.14.2 ドライバのインストールとセットアップ

手順 1

コンピュータの電源を入れて OS を起動します。

手順 2

VGA ドライバをシステムにインストールしている場合は、AMD ドライバを削除します。



Catalyst Uninstaller (カタリストアンインストーラ) はオプションのダウンロードです。インストールする前に、以前にインストールした Catalyst (カタリスト) ドライバをこのユーティリティを使用してアンインストールすることを推奨します。AMD ドライバの更新については AMD のウェブサイト参照してください。

手順 3

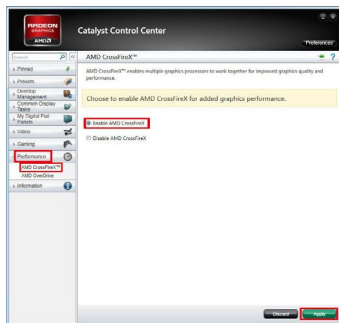
必要なドライバとカタリストコントロールセンターをインストールして、コンピュータを再起動します。詳細については AMD のウェブサイト参照してください。



AMD Catalyst Control Center
(AMD カタリストコントロール
センター)

手順 4

Windows[®] システムトレイにある AMD Catalyst Control Center (AMD カタリストコントロールセンター) アイコンをダブルクリックします。



手順 5

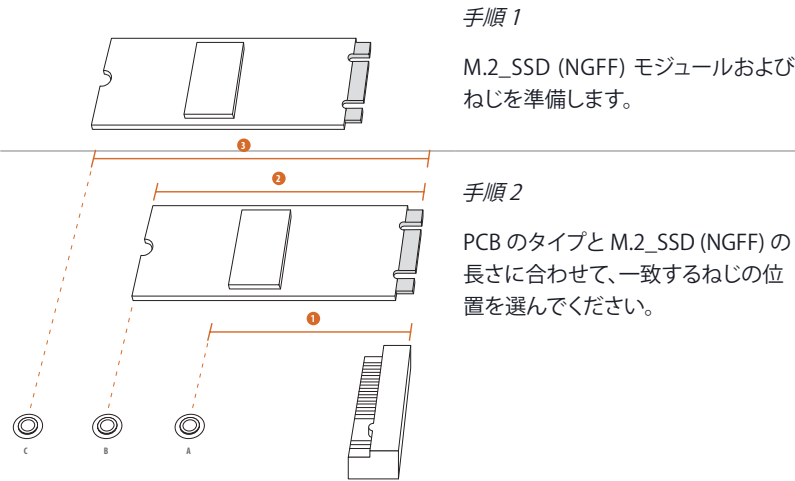
左ペインで、Performance (パフォーマンス) をクリックして、次に、AMD CrossFireX[™] をクリックします。次に、Enable AMD CrossFireX (AMD CrossFireX を有効にする) を選択して、Apply (適用) をクリックします。使用するグラフィックスカードに従って GPU の数を選択して、Apply (適用) をクリックします。

2.15 M.2_SSD (NGFF) モジュール取り付けガイド (M2_1)

M.2 は次世代フォームファクタ (Next Generation Form Factor, NGFF) と呼ばれます。M.2 は小型の多目的カードエッジコネクタであり、mPCIe と mSATA に代わることを目的とします。Ultra M.2 ソケット (M2_1) は最大 Gen3 x4 (32 Gb/s) までのタイプ 2242/2260/2280 M.2 PCI Express モジュール (Matisse、Picasso、Summit Ridge、Raven Ridge、および、Pinnacle Ridge が搭載されている場合)、または、最大 Gen3 x 2 (16 Gb/s) までの M Key タイプ 2242/2260/2280 M.2 PCI Express モジュールに対応 (Athlon シリーズ APU が搭載されている場合)。

* M2_1 が使用されている場合は、PCIE4 は無効になります。

M.2_SSD (NGFF) モジュールを取り付ける

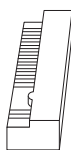


番号	1	2	3
ナットの場所	A	B	C
PCB 長さ	4.2cm	6cm	8cm
モジュールのタイプ	Type 2242	Type2260	Type 2280



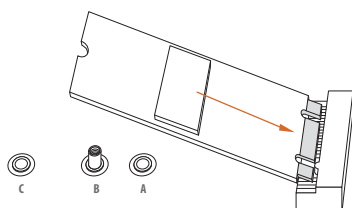
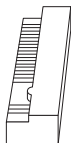
手順3

モジュールのタイプと長さに基づいてスタンドオフを移動します。デフォルトでは、スタンドオフはナット位置Cにあります。デフォルトのナットを使用する場合は、手順3と手順4をスキップして手順5に進みます。その他の場合はスタンドオフを手で緩めます。



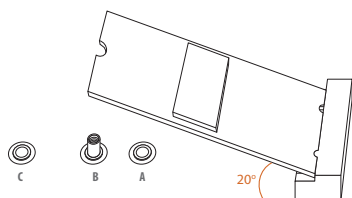
手順4

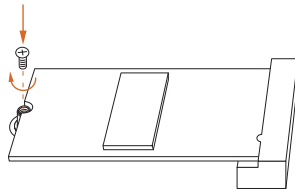
ねじに貼付されている黄色の保護フィルムをはがします。デバイスを取り付ける場所にあわせて、手でねじを締めてください。



手順5

M.2 (NGFF) SSD モジュールを丁寧に M.2 スロットに挿入します。M.2 (NGFF) SSD モジュールは 1 方向にしか取り付けることができません。





手順 6

ドライバでねじをしっかりと留めてください。しかし、きつく締めるすぎるとモジュールが破損する恐れがあるのでご注意ください。

M.2_SSD (NGFF) モジュールサポート一覧

ベンダー	インターフェース	部品番号
Intel	PCIe	INTEL 6000P-SSDPEKKF256G7 (nvme)
Intel	PCIe	INTEL 6000P-SSDPEKKF512G7 (nvme)
Intel	PCIe	INTEL 600P-SSDPEKKW256G7-256GB (nvme)
Kingston	PCIe	Kingston SHPM2280P2 / 240G (Gen2 x4)
SanDisk	PCIe	SanDisk-SD6PP4M-128G(Gen2 x2)
Samsung	PCIe	Samsung XP941-MZHPU512HCGL(Gen2x4)

M.2_SSD (NFGG) モジュールサポート一覧の最新の更新については、弊社のウェブサイトの詳細をご確認ください。 <http://www.asrock.com>

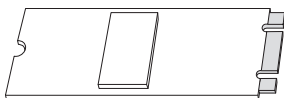
2.16 M.2_SSD (NGFF) モジュール取り付けガイド (M2_2)

M.2 は次世代フォームファクタ (Next Generation Form Factor, NGFF) とも呼ばれます。M.2 は小型の多目的カードエッジコネクタであり、mPCIe と mSATA に代わることを目的とします。1 x M.2 ソケット (M2_2) タイプ 2230/2242/2260/2280/22110 M.2 SATA3 6.0 Gb/s モジュールと最大 Gen3 x2 (16 Gb/s) までの M.2 PCI Express モジュールに対応。

* M2_2 は SATA3_3 及び SATA3_4 とレーンを共用します。いずれかが使用されている場合は、その他は無効になります。

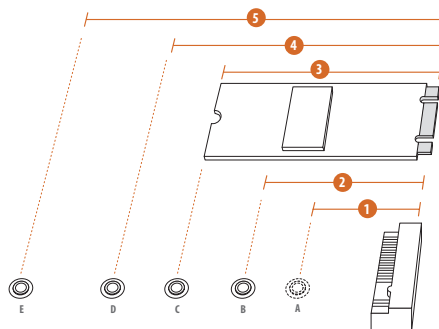
M.2_SSD (NGFF) モジュールを取り付ける

手順 1



M.2_SSD (NGFF) モジュールおよびねじを準備します。

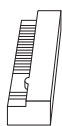
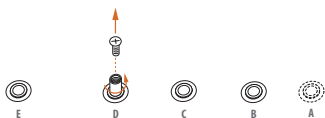
手順 2



PCB のタイプと M.2_SSD (NGFF) の長さに合わせて、一致するねじの位置を選んでください。

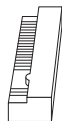
番号	1	2	3	4	5
ナットの場所	A	B	C	D	E
PCB 長さ	3cm	4.2cm	6cm	8cm	11cm
モジュールのタイプ	Type2230	Type 2242	Type2260	Type 2280	Type 22110

手順 3



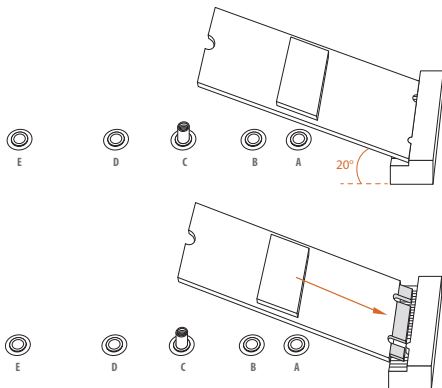
モジュールのタイプと長さに基づいてスタンドオフを移動します。デフォルトでは、スタンドオフはナット位置 D にあります。デフォルトのナットを使用する場合は、手順 3 と手順 4 をスキップして手順 5 に進みます。その他の場合はスタンドオフを手で緩めます。

手順 4

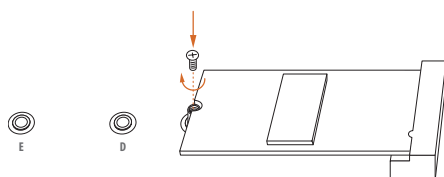


ねじに貼付されている黄色の保護フィルムをはがします。デバイスを取り付ける場所にあわせて、手でねじを締めてください。

手順 5



M.2 (NGFF) SSD モジュールを丁寧に M.2 スロットに挿入します。M.2 (NGFF) SSD モジュールは 1 方向にしか取り付けることができません。



手順6

ドライバでねじをしっかりと留めてください。しかし、きつく締めるすぎるとモジュールが破損する恐れがあるのでご注意ください。

M.2_SSD (NGFF) モジュールサポート一覧

ベンダー	インターフェース	部品番号
ADATA	SATA3	AXNS381E-128GM-B
ADATA	SATA3	AXNS381E-256GM-B
ADATA	SATA3	ASU800NS38-256GT-C
ADATA	SATA3	ASU800NS38-512GT-C
Crucial	SATA3	CT120M500SSD4
Crucial	SATA3	CT240M500SSD4
Intel	SATA3	Intel SSDSCKGW080A401/80G
Kingston	SATA3	SM2280S3
Kingston	PCIe2 x4	SH2280S3/480G
Plextor	PCIe	PX-G256M6e
Plextor	PCIe	PX-G512M6e
Samsung	PCIe x4	XP941-512G (MZHPU512HCGL)
SanDisk	PCIe	SD6PP4M-128G
SanDisk	PCIe	SD6PP4M-256G
Team	SATA3	TM4PS4128GMC105
Team	SATA3	TM4PS4256GMC105
Team	SATA3	TM8PS4128GMC105
Team	SATA3	TM8PS4256GMC105
Transcend	SATA3	TS256GMTS400
Transcend	SATA3	TS512GMTS600
Transcend	SATA3	TS512GMTS800

M.2_SSD (NFGG) モジュールサポート一覧の最新の更新については、弊社のウェブサイト
 目で詳細をご確認ください。<http://www.asrock.com>

第3章 ソフトウェアとユーティリティの操作

3.1 ドライバをインストールする

マザーボードに付属しているサポート DVD には、必要なドライバ、および、マザーボードの機能を強化する便利なユーティリティが含まれています。

サポート DVD を実行する

サポート DVD を使用するために、CD を DVD/BD ドライブに挿入します。コンピュータで「AUTORUN (自動実行)」が有効になっている場合は、CD がメインメニューを自動的に表示します。メインメニューが自動的に表示されない場合は、サポート DVD 内のファイル「ASRSETUP.EXE」をダブルクリックしてメニューを表示します。

ドライバメニュー

システムと互換性のあるドライバが自動的に検出されて、サポート DVD ドライバページに一覧表示されます。Install All(すべてインストールする)をクリックするか、または、上から下への順番で必要なドライバをインストールしてください。このようにインストールすることで、ドライバが正しく動作するようにします。

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューには、マザーボードが対応するアプリケーションソフトウェアが表示されます。特定の項目をクリックして、インストールウィザードに従ってインストールします。

3.2 A-Tuning

A-Tuning は ASRock の多目的ソフトウェアスイートです。新しいインターフェースを有し、数々の新しい機能が追加されており、ユーティリティが改善されました。

3.2.1 A-Tuning をインストールする

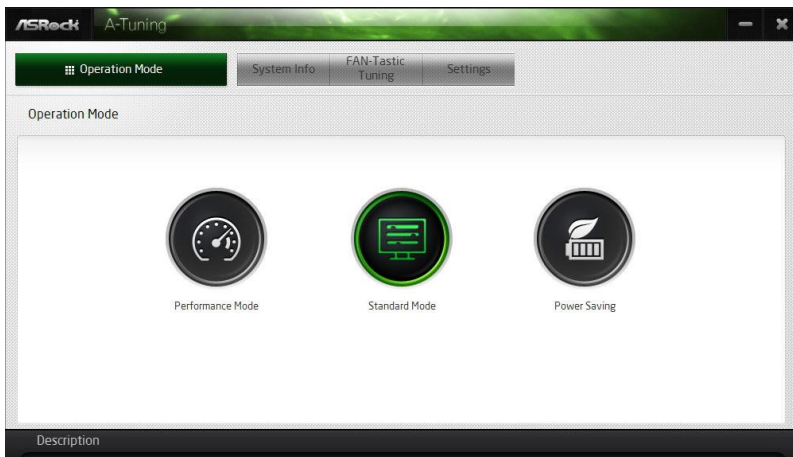
A-Tuning を ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ) からダウンロードできます。インストールすると、デスクトップに「A-Tuning」アイコンが表示されます。「A-Tuning」アイコンをダブルクリックすると、A-Tuning メインメニューがポップアップ表示されます。

3.2.2 A-Tuning を使用する

A-Tuning メインメニューには 4 つのセクションがあります : Operation Mode (操作モード)、System Info (システム情報)、FAN-Tastic Tuning (FAN-Tastic チューニング)、Settings (設定)。

Operation Mode (操作モード)

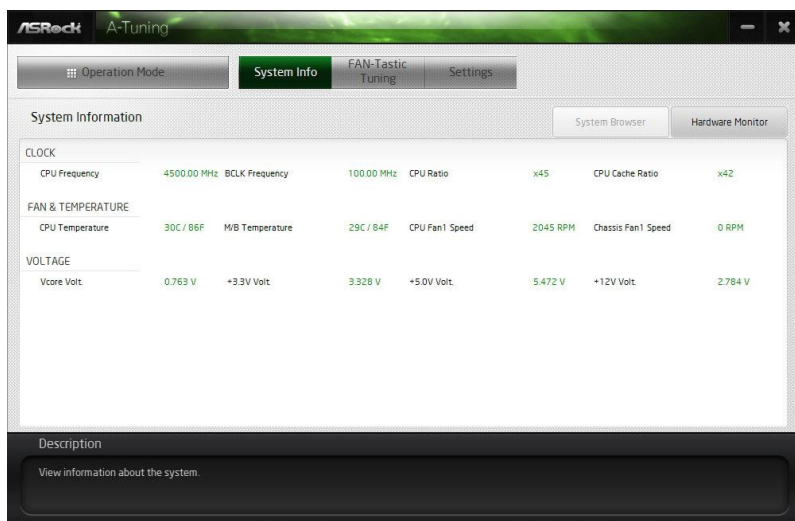
コンピューターの操作モードを選択します。



System Info (システム情報)

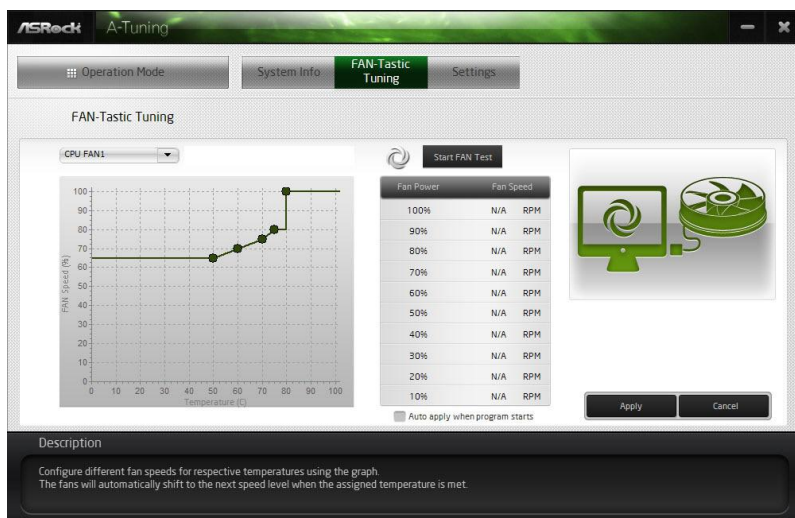
システムに関する情報を表示します。

* モデルによっては、システムブラウザタブが表示されないことがあります。



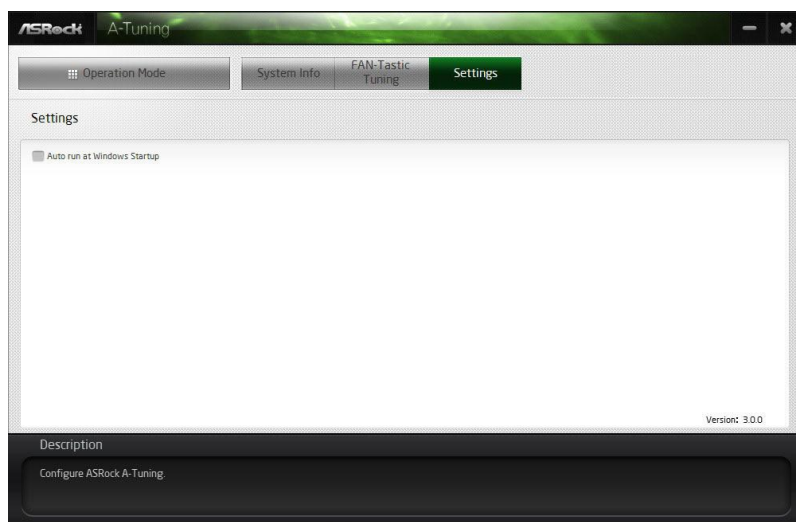
FAN-Tastic Tuning (ファン調整)

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。



Settings (設定)

ASRock A-Tuning を設定します。Windows オペレーションシステムを起動する際に A-Tuning を始動したい場合は、「Auto run at Windows Startup (Windows 起動時に自動実行)」をクリックして選択します。



3.3 ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ)

ASRock ライブ更新と APP ショップは、ASRock コンピュータ用のソフトウェアアプリケーションを購入したりダウンロードできるオンラインストアです。USB キー、XFast LAN、XFast RAM などのさまざまなアプリケーションとサポートユーティリティを素早く簡単にインストールできます。ASRock APP ショップを使用すれば、数回クリックするだけで、システムを最適化して、マザーボードを最新の状態に維持できます。

デスクトップ上の  をダブルクリックして ASRock ライブ更新と APP ショップユーティリティにアクセスします。

*ASRock ライブ更新と APP ショップからアプリケーションをダウンロードするにはインターネットに接続している必要があります。

3.3.1 UI 概要



Category Panel (カテゴリパネル)：カテゴリパネルにはいくつかのタブまたはボタンがあります。これらのタブまたはボタンを選択すると、下の情報パネルに關係する情報が表示されます。

Information Panel (情報パネル)：中央にある情報パネルには、現在選択されているカテゴリについてのデータが表示されます。また、ジョブに關係するタスクを実行できます。

Hot News (ホットニュース)：ホットニュースセクションにはさまざまな最新ニュースが表示されます。画像をクリックして選択したニュースのウェブサイトを開いて詳しく読むことができます。

3.3.2 Apps(アプリ)

「Apps(アプリ)」タブを選択すると、ダウンロードできるすべてのアプリが画面上に表示されます。

アプリをインストールする

手順 1

インストールしたいアプリを検索します。



最も推奨されるアプリが画面の左側に表示されます。その他のさまざまなアプリは右側に表示されます。上下にスクロールして一覧にあるアプリを検索してください。

アプリの価格を確認したり、アプリを既にインストールしているかどうかを確認できます。

Free - 赤色のアイコンに価格が表示されます。または、アプリが無料の場合は「Free(無料)」と表示されます。

Installed - 緑色の「Installed(インストール済み)」アイコンは、アプリがコンピュータにインストールされていることを意味します。

手順 2

アプリアイコンをクリックすると、選択したアプリの詳細情報が表示されます。

手順3

アプリをインストールしたい場合は、赤色のアイコン **Free** をクリックしてダウンロードを開始します。



手順4

インストールが完了すると、右上端に緑色の「Installed (インストール済み)」アイコンが表示されます。



アプリをアンインストールするには、ゴミ箱アイコン  をクリックします。
* アプリによっては、ゴミ箱アイコンが表示されないことがあります。

アプリをアップグレードする

アップグレードできるのはインストール済みのアプリのみです。アプリの新しいバージョンがある場合は、インストールしたアプリアイコンの下に「New Version (新しいバージョン)」のマークが表示されます。



手順 1

アプリアイコンをクリックすると、詳細情報が表示されます。

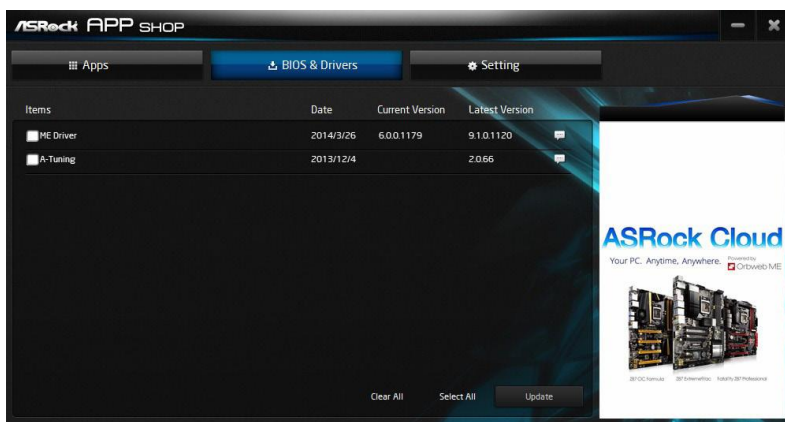
手順 2

黄色のアイコン  をクリックしてアップグレードを開始します。

3.3.3 BIOS & Drivers (BIOS とドライバ)

BIOS またはドライバをインストールする

「BIOS & Drivers (BIOS とドライバ)」タブを選択すると、BIOS またはドライバ用の推奨更新または重要な更新が一覧表示されます。速やかにすべて更新してください。



手順 1

更新する前に項目情報を確認してください。🗉 をクリックすると、詳細情報が表示されます。

手順 2

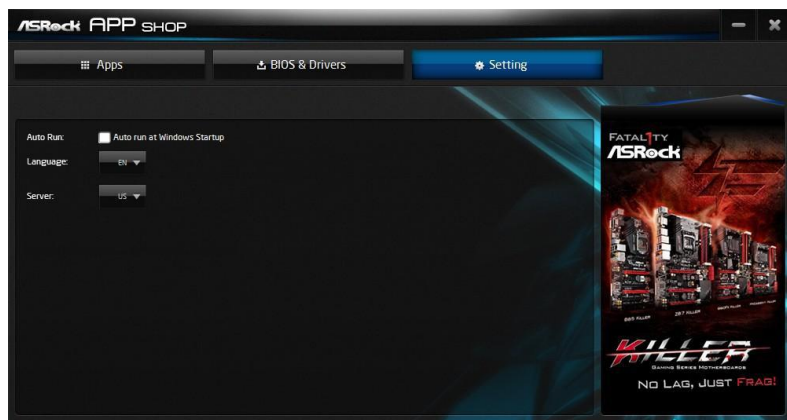
更新したい項目を 1 つまたは複数クリックして選択します。

手順 3

「Update (更新)」をクリックして更新処理を開始します。

3.3.4 設定

「Setting (設定)」ページで、言語を変更したり、サーバーの場所を選択したり、Windows 起動時に ASRock ライブ更新と APP ショップを自動的に実行するかどうかを決めることができます。

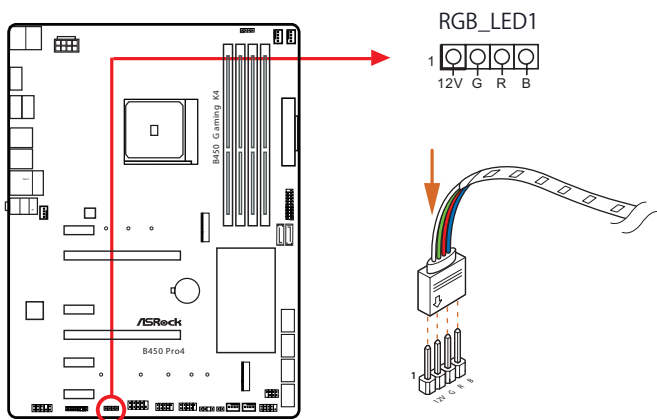


3.4 ASRock Polychrome RGB

ASRock Polychrome RGB は、ご自分の好みに合わせて独自のスタイリッシュでカラフルなライティングシステムをビルドしたい個性的なユーザー向けに特別設計されたライティング制御機能です。LED ストリップを接続するだけで、「Static」、「Breathing」、「Strobe」、「Cycling」、「Music」、「Wave」などのさまざまライティングスキームとパターンをカスタマイズできます。

LED ストリップを接続する

RGB LED ストリップをマザーボード上の RGB LED ヘッダー (RGB_LED1) に接続します。



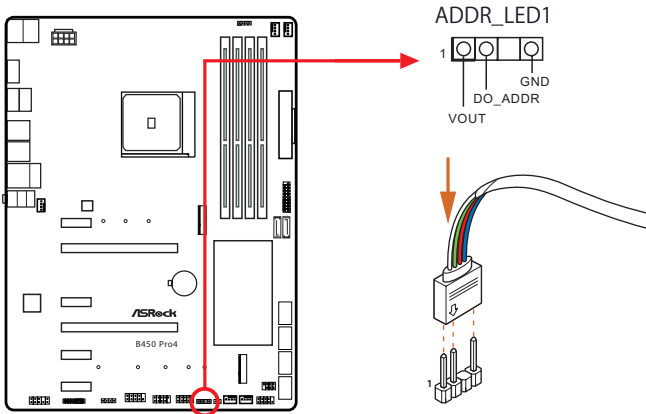
1. RGB LED ケーブルは間違った方向に取り付けけないでください。間違った方向に取り付けるとケーブルが破損することがあります。
2. RGB LED ケーブルを取り付けたり取り外す前には、システムの電源を切って、電源供給から電源コードを取り外してください。そうしないと、マザーボードコンポーネントが破損することがあります。



1. RGB LED ストリップはパッケージには含まれていません。
2. RGB LED ヘッダーは、最大出力規格 3A (12V) で長さが 2 メートル以内の標準 5050 RGB LED ストリップ (12V/G/R/B) に対応します。

アドレスابل RGB LED ストリップを接続する

アドレスابل RGB LED ストリップをマザーボード上のアドレスابل LED ヘッダー (ADDR_LED1) に接続します。



1. RGB LED ケーブルは間違った方向に取り付けしないでください。間違った方向に取り付けるとケーブルが破損することがあります。
2. RGB LED ケーブルを取り付けたり取り外す前には、システムの電源を切って、電源供給から電源コードを取り外してください。そうしないと、マザーボードコンポーネントが破損することがあります。



1. RGB LED ストリップはパッケージには含まれていません。
2. RGB LED ヘッダーは、最大定格 3A (5V)、長さ 2 メートルまでの WS2812B アドレスابل RGB LED ストリップ (5V/ Data /GND) に対応します。

ASRock Polychrome RGB ユーティリティ

ASRock RGB LED ユーティリティで RGB LED の色を調整できます。ASRock Live Update & APP Shop からこのユーティリティをダウンロードして、PC スタイルの色をお好みに合わせて調整できます。

RGB LED スwitchの
オン / オフを切り替
えます。

Sync RGB LED (RGB
LED 同期) はマザーボ
ードのすべての LED 領
域に適用されます。



タブをドラッグしてお好みに
合わせてカスタマイズします。

ドロップダウンメニューから
RGB LED 照明効果を選択し
ます。

第4章 UEFI セットアップユーティリティ

4.1 はじめに

このセクションでは、UEFI セットアップユーティリティを使用して、システムを構成する方法を説明します。UEFI セットアップユーティリティは、コンピューターに電源を入れた直後に <F2> または を押すことによって起動できます。ユーティリティを起動しなければ、電源投入時セルフテスト (POST) が通常のテストを開始します。POST の後に UEFI セットアップユーティリティを開始するには、<Ctl> + <Alt> + <Delete> または本体のリセットボタンを押して、システムを再起動します。システムをシャットダウンした後、再度電源を入れても、ユーティリティを起動することができます、再起動できます。



UEFI ソフトウェアは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合があります。

4.1.1 UEFI メニューバー

画面上部には、以下が並んだメニューバーがあります：

Main (メイン)	システムの時間 / 日付情報の設定
OC Tweaker (OC 調整)	オーバークロック設定
Advanced (詳細設定)	システムの詳細設定
Tool (ツール)	便利なツール
H/W Monitor (H/W モニター)	現在のハードウェアステータスを表示
Security (セキュリティ)	セキュリティ設定
Boot (ブート)	ブート設定およびブートの優先順位の設定
Exit (終了)	現在の画面または UEFI セットアップユーティリティを終了

4.1.2 ナビゲーションキー

メニューバーで項目を選択する場合は、<←> キーまたは <→> キーを使用します。カーソルを上下に移動して項目を選択する場合は、<↑> キーまたは <↓> キーを使用します。次に <Enter> を押してサブ画面へ移動します。マウスでクリックして、必要なアイテムを選択することもできます。

各ナビゲーションキーの説明は、以下の表でご確認ください。

ナビゲーションキー	説明
+ / -	選択したアイテムのオプションを変更
<Tab>	次の機能に切替え
<PGUP>	前のページへ
<PGDN>	次のページへ
<HOME>	画面の最初へ
<END>	画面の最後へ
<F1>	一般的なヘルプ画面を表示
<F5>	Add / Remove Favorite (お気に入りの追加 / 削除)
<F7>	変更をキャンセルして、セットアップユーティリティを終了
<F9>	すべての設定で最適な既定値を読み込み
<F10>	変更を保存して、セットアップユーティリティを終了
<F12>	プリントスクリーン
<ESC>	終了画面へジャンプまたは現在の画面を終了

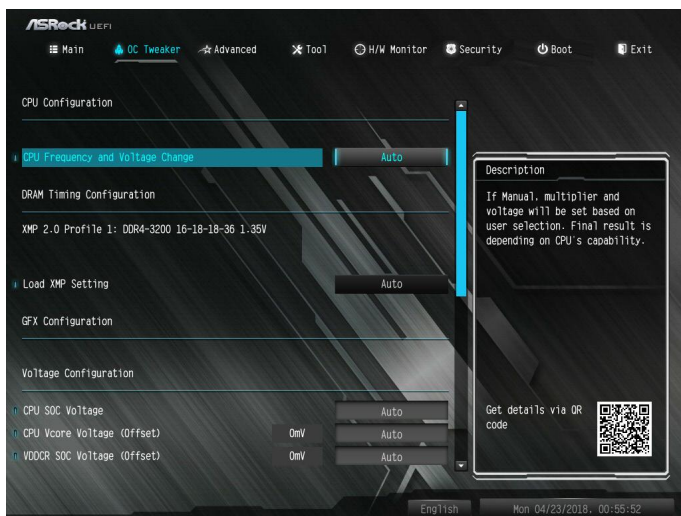
4.2 Main (メイン) 画面

UEFI セットアップ ユーティリティに入ると、メイン画面が現れ、システムの概要が表示されます。4



4.3 OC Tweaker (OC 調整) 画面

OC 調整画面では、オーバークロック機能を設定できます。



UEFI ソフトウェアは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合もあります。

CPU Configuration (CPU 設定)

CPU Frequency and Voltage Change (CPU 周波数と電圧変更)

この項目が [Manual (手動)] に設定されている場合は、マルチプライヤと電圧はユーザーの選択に基づいて設定されます。最終結果は CPU の容量によって異なります。

DRAM のタイミング設定

Load XMP Setting (XMP 設定の読み込み)

XMP 設定を読み込んでメモリをオーバークロックし、標準仕様を上回る性能を実現します。

Voltage Configuration (電圧設定)

CPU SOC Voltage (CPU SOC 電圧)

これを使用して CPU SOC Voltage Setting (CPU SOC 電圧設定) を設定します。

最小: 0.90000

最大: 1.55000

CPU Vcore Voltage (CPU Vcore 電圧) (オフセット)

Vcore の電圧を設定します。

VDDCR SOC Voltage (offset) (CPU SOC 電圧 (オフセット))

VDDCR SOC の電圧を設定します。

VPPM

VPPM の電圧を設定します。

2.50V Voltage (2.50V 電圧)

2.50V の電圧を設定します。

DRAM Voltage (DRAM 電圧)

この項目を使用して DRAM Voltage (DRAM 電圧) を選択します。デフォルトでは [Auto (自動)] です。

+1.8 Voltage (+1.8 電圧)

この項目を使用して +1.8V 電圧を選択します。デフォルトでは [Auto (自動)] です。

VDDP

VDDP 向けの電圧を設定します。

1.05V Voltage (1.05V 電圧)

この項目を使用して 1.05V Voltage (1.05V 電圧) を選択します。デフォルトでは [Auto (自動)] です。

Save User Default (ユーザー定義の保存)

設定をユーザー定義として保存するには、プロファイル名を入力し、<Enter> を押します。

Load User Default (ユーザー定義の読み込み)

前回保存したユーザー定義を読み込みます。

Save User UEFI Setup Profile to Disk (ユーザー UEFI セットアップポ

ートフォリオをディスクに保存)

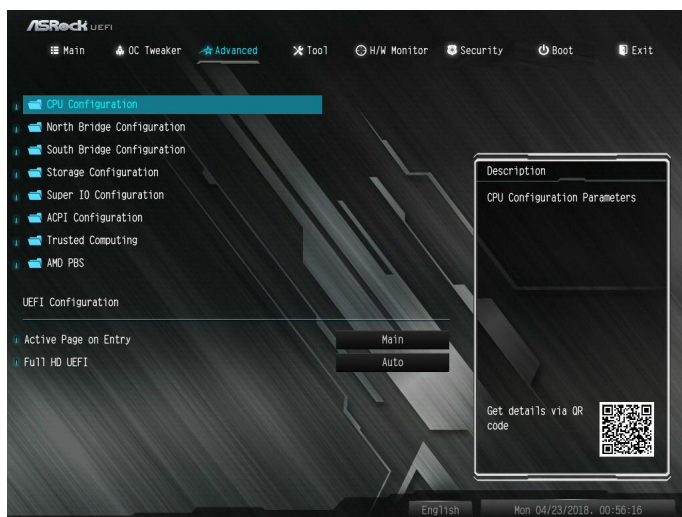
現在の UEFI 設定をユーザーデフォルトプロファイルとしてディスクに保存します。

Load User UEFI Setup Profile to Disk (ユーザー UEFI セットアッププロファイルをディスクに読み込む)

前に保存したユーザーデフォルトをディスクから読み込みます。

4.4 Advanced (詳細) 画面

このセクションでは、以下のアイテムの設定ができます：CPU 設定、ノースブリッジ設定、サウスブリッジ設定、ストレージ設定、スーパー IO 設定、ACPI 設定、Trusted Computing (トラステッド・コンピューティング) および AMD PBS。



このセクションで誤った値を設定すると、システムの誤作動の原因になることがあります。

UEFI Configuration (UEFI 設定)

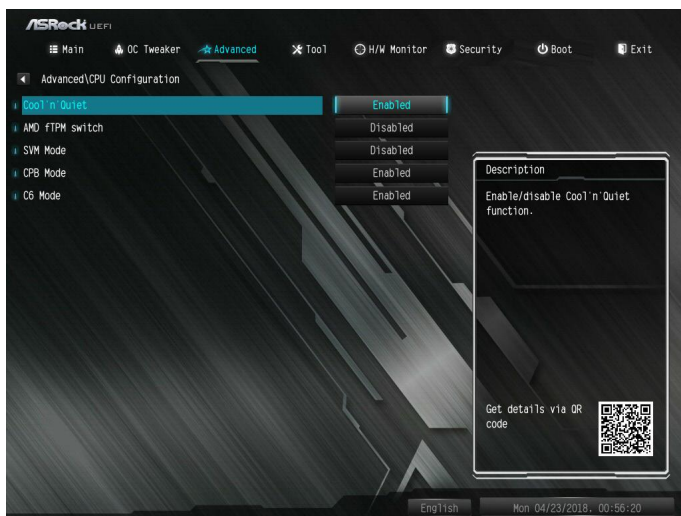
Active Page on Entry (開始時のアクティブページ)

UEFI セットアップ ユーティリティに入ったときのデフォルトページを選択します。

Full HD UEFI (フル HD UEFI)

「Auto(自動)」を選択すると解像度は 1920 x 1080 に設定されます。ご使用のモニターがフル HD に対応している場合もしモニターがフル HD 非対応であれば、解像度は 1024 x 768 に設定されます。「Disable(無効)」に設定すると、モニターの解像度は 1024 x 768 に設定されます。

4.4.1 CPU Configuration (CPU 設定)



Cool 'n' Quiet

この項目を使用して、AMD の Cool 'n' QuietTM テクノロジーを有効または無効にします。デフォルトでは [Enabled (有効)] です。

[Enabled (有効)]

Windows® OS をインストールして、この機能を有効にしたい場合は、この項目を [Enabled (有効)] に設定してください。この機能を有効にすると、CPU 電圧とメモリ周波数が低下して、メモリモジュールまたは電源供給によっては安定性または互換性の問題が発生することがあります。

[Disabled (無効)]

上記の問題が発生する場合は、この項目を [Disabled (無効)] に設定してください。

AMD fTPM Switch (AMD fTPM スイッチ)

この項目を使用して AMD CPU fTPM を有効または無効にします。

SVM Mode (SVM モード)

このオプションを [Enabled (有効)] に設定すると、VMM (仮想マシンアーキテクチャ) は AMD-V が提供する追加ハードウェア容量を利用できます。デフォルト値は [Enabled (有効)] です。設定オプション: [Enabled (有効)] と [Disabled (無効)]。

CPB Mode (CPB モード)

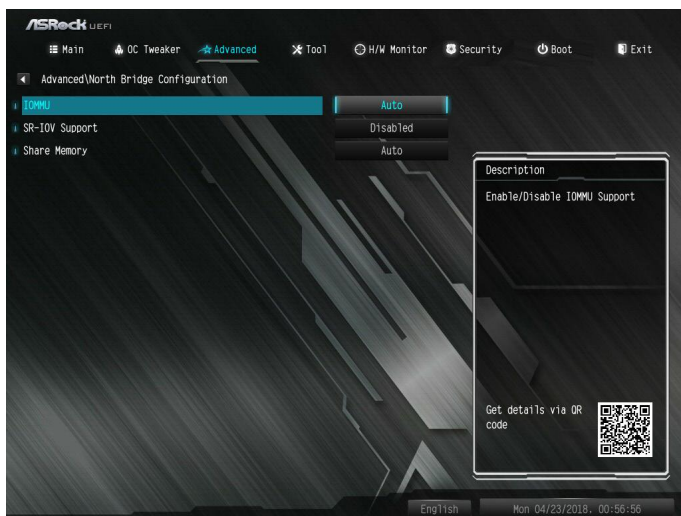
この項目を使用して CPB モードを有効または無効にします。デフォルトでは

[Enabled (有効)] です。

C6 Mode (C6 モード)

この項目を使用して Core C6 モードを有効または無効にします。デフォルトでは [Enabled (有効)] です。

4.4.2 North Bridge Configuration (ノースブリッジ設定)



IOMMU

この項目を使用して IOMMU を有効または無効にします。この機能のデフォルト値は [Disabled (無効)] です。

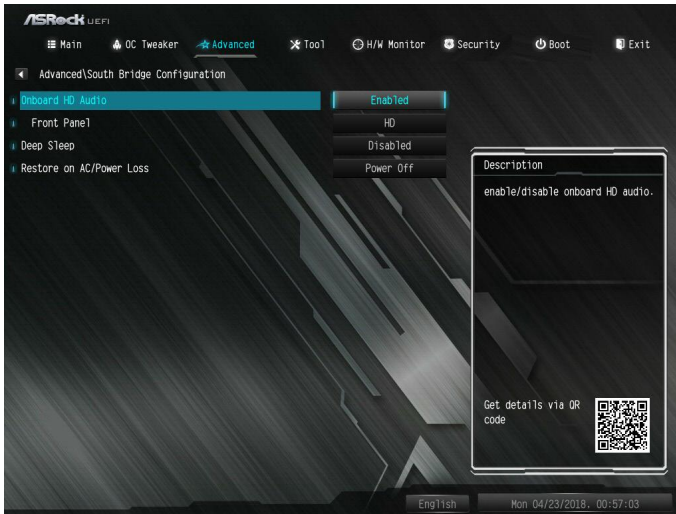
SR-IOV Support (SR-IOV サポート)

システムに SR-IOV 対応 PCIe デバイスがある場合に、SR-IOV (Single Root IO Virtualization Support、シングル・ルート IO 仮想化サポート) を有効 / 無効にします。

Share Memory (共有メモリ)

システムが起動したときに統合グラフィックス プロセッサに割当ててメモリのサイズを設定します。

4.4.3 South Bridge Configuration (サウスブリッジ設定)



Onboard HD Audio (内蔵 HD オーディオ)

内蔵の HD オーディオをオン / オフします。[Auto] (自動) に設定すると、内蔵の HD オーディオは有効化され、サウンドカードがインストールされたときのみ自動的に無効にされます。

Front Panel (フロントパネル)

フロントパネルの HD オーディオをオン / オフします。

Deep Sleep (ディープスリープ)

コンピューターがシャットダウンされたときの節電を目的としたディープスリープを設定します。

Restore on AC/Power Loss (AC/ 電源損失で復元)

停電後の電力状態を選択します。

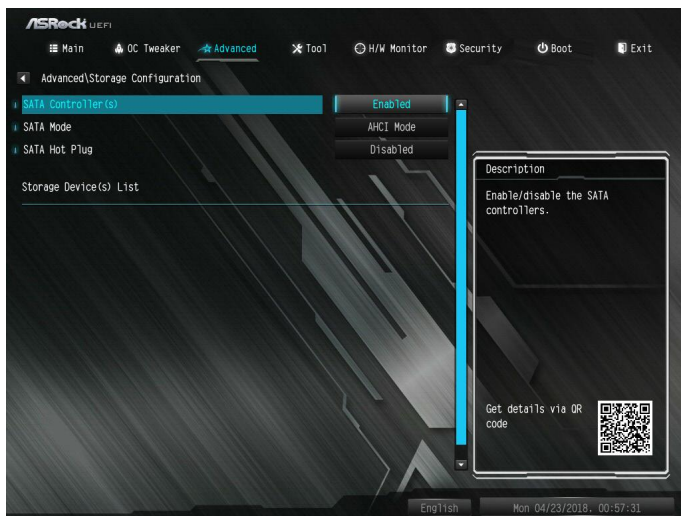
[Power Off (電源オフ)]

この項目を選択すると、電力が回復しても電源はオフのままになります。

[Power On (電源オン)]

この項目を選択すると、電力が回復するとシステムが起動し始めます。

4.4.4 Storage Configuration (ストレージ設定)



SATA Controller(s) (SATA コントローラー)

SATA コントローラを有効 / 無効にします。

SATA Mode (SATA モード)

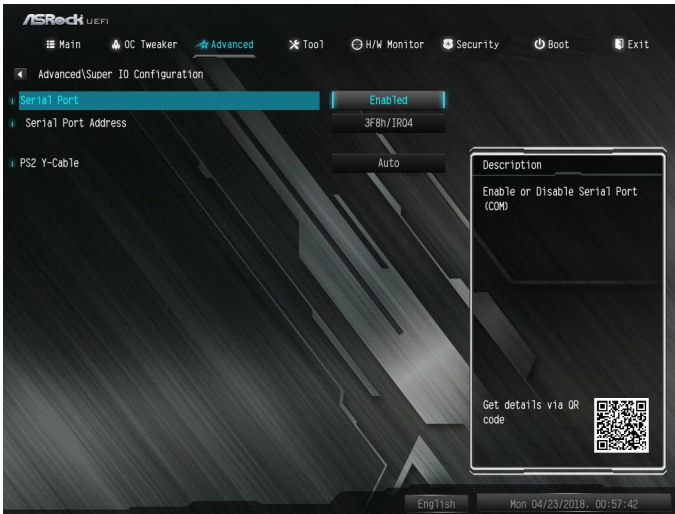
[AHCI] 性能を向上させる新しい機能に対応します。

[RAID] 複数のディスクドライブを論理ユニットに組み合わせます。

SATA Hot Plug (SATA ホットプラグ)

SATA ホットプラグ機能を有効 / 無効にします。

4.4.5 Super IO Configuration (スーパー IO 設定)



Serial Port (シリアルポート)

シリアルポートを有効 / 無効にします。

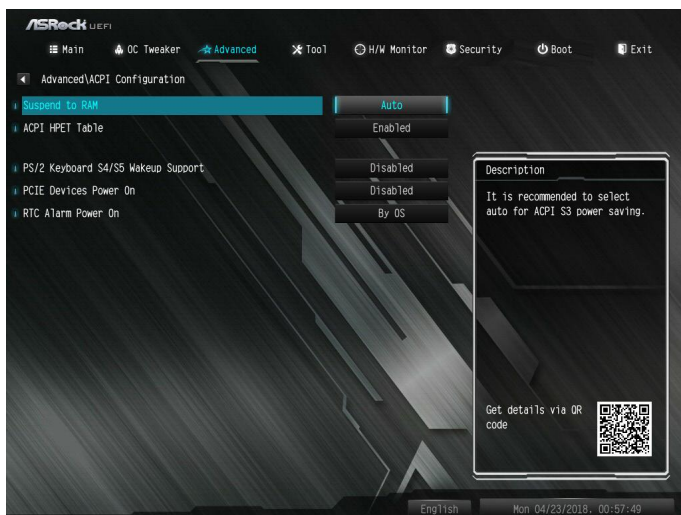
Serial Port Address (シリアルポート アドレス)

シリアルポートのアドレスを選択します。

PS2 Y-Cable (PS2 Y ケーブル)

PS2 Y ケーブルを有効にするか、またはこのオプションを Auto (自動) に設定します。

4.4.6 ACPI Configuration (ACPI 設定)



Suspend to RAM (RAM へのサスペンド)

[Auto (自動)] として電力消費の少ない ACPI S3 を選択することをお勧めします。

ACPI HPET Table (ACPI HPET 表)

パフォーマンスを向上し、WHQL の認定を受けるため、[High Precision Event Timer (高精度イベントタイマー)] を有効にします。

PS/2 Keyboard S4/S5 Wakeup Support (PS/2 キーボード S4/S5 ウェイクアップサポート)

PS/2 キーボードでシステムを起動できるようになります。

[Disabled (無効)]

この項目を選択して、PS/2 Keyboard Power On (PS/2 キーボード電源オン) 機能を無効にします。

[Any Key (いずれかのキー)]

この項目を選択すると、PS/2 キーボード上のいずれかのキーをクリックしてシステムを再起動できます。

PCIE Devices Power On (PCIE デバイス電源オン)

PCIE デバイスでシステムをウェイクアップできます。また、LAN 上でのウェイクアップを有効にできます。

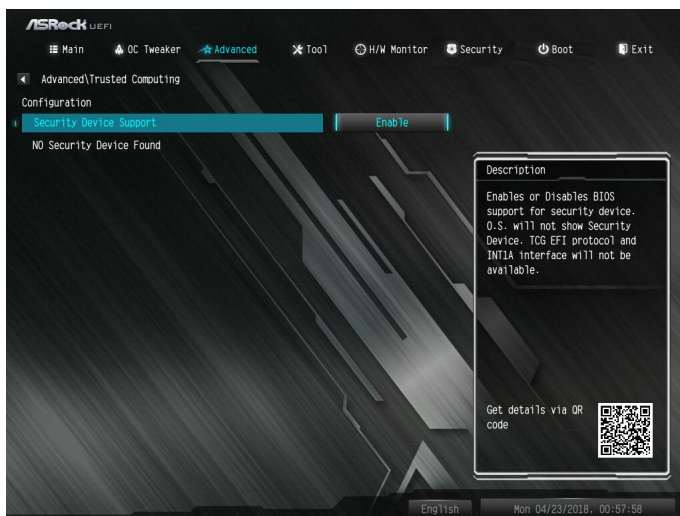
RTC Alarm Power On (RTC アラームによる電源オン)

リアルタイムクロックのアラームでシステムを起動できるようになります。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、RTC Alarm Power On (RTC アラーム電源オン) 機能を無効にします。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、RTC Alarm Power On (RTC アラーム電源オン) 機能を有効にします。

4.4.7 Trusted Computing (トラステッド・コンピューティング)



Security Device Support (セキュリティ デバイス サポート)

セキュリティ デバイスの BIOS サポートを有効または無効にします。

4.4.8 AMD PBS



AMD PBS メニューは、MD 固有の機能にアクセスします。

4.5 Tool (ツール)



RGB LED

ASRock RGB LED を使用すれば RGB LED の色をお好みに合わせて調整できます。

Easy RAID Installer (簡単 RAID インストーラー)

該当する CD から USB ストレージ デバイスへの RAID ドライバーのコピーが簡単にできます。ドライバーをコピーしたら、モードを SATA から RAID へ変更すると、RAID モードでのオペレーティングシステムのインストールが開始できます。

Easy Driver Installer (楽々ドライバー インストーラー)

付属の CD を挿入するディスクドライブがない場合に便利な UEFI のツールです。USB ストレージ デバイス経由で LAN ドライバーをお使いのシステムにインストールし、その後、その他の必要なドライバーも自動的にダウンロードします。

Instant Flash (インスタント フラッシュ)

UEFI ファイルを USB ストレージ デバイスに保存し、[Instant Flash (インスタント フラッシュ)] を実行すると、UEFI が更新されます。

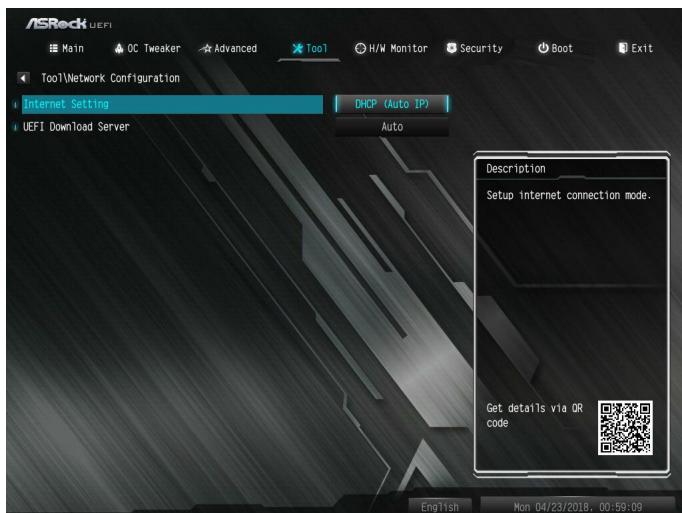
Internet Flash (インターネットフラッシュ)

ASRock の [Internet Flash] (インターネット フラッシュ) は、サーバーから最新の UEFI ファームウェアをダウンロードして更新します。[Internet Flash] (インターネット フラッシュ) を利用するには、まずネットワークの設定をする必要があります。

*BIOS のバックアップとリカバリー用に、この機能を使用する前に、USB ペンドライブを差し込むことをお勧めします。

Network Configuration (ネットワーク設定)

[Internet Flash (インターネット フラッシュ)] で必要なインターネット接続を設定します。



Internet Setting (インターネット設定)

セットアップ ユーティリティでのサウンドエフェクトをオン / オフします。

UEFI Download Server (UEFI ダウンロード サーバー)

UEFI ファームウェアをダウンロードするサーバーを選択します。

4.6 Hardware Health Event Monitoring (ハードウェアヘルス イベント監視) 画面

このセクションでは、CPU 温度、マザーボード温度、ファン速度、および電圧などのパラメーターを含め、システムのハードウェアのステータスを監視できます。



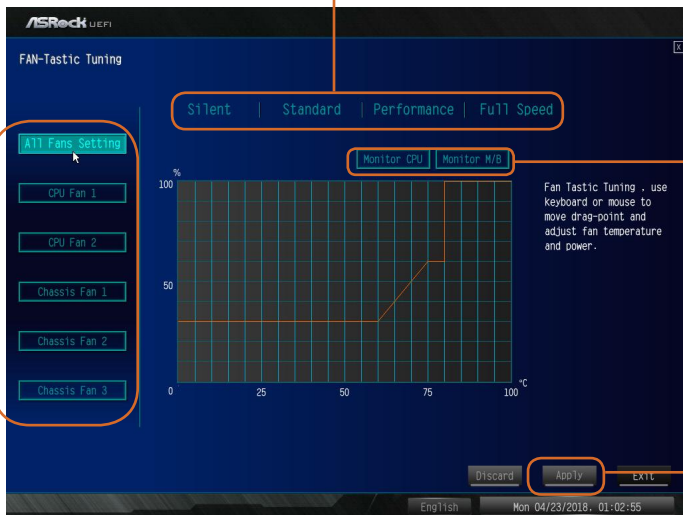
Fan Tuning (ファン・チューニング)

ファンの最小デューティサイクルを測定します。

Fan-Tastic Tuning (ファン調整)

CPU ファン 1 および 2 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

ファンモードを選択するか、または、プロファイルのカスタマイズします。



温度の測定対象を選択します。

設定を保存する

調整するファンを選択します。

CPU_FAN1 Setting (CPU_FAN1 設定)

CPU ファン 1 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

設定オプション：

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (パフォーマンスモード)] [Full Speed (最高速度)]

CPU_FAN1 Temp Source (CPU_FAN1 温度ソース)

CPU オプションファンの温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

CPU_FAN2/WP Switch (CPU_FAN2/WP 切り替え)

CPU オプションモードまたはウォーターポンプモードを選択します。

CPU Fan 2 Control Mode (CPU ファン 2 制御モード)

CPU ファン 2 の PWM モードまたは DC モードを選択します。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

CPU Fan 2 Setting (CPU ファン 2 設定)

CPU ファン 2 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (パフォーマンスモード)] [Full Speed (最高速度)]

CPU Fan 2 Temp Source (CPU ファン 2 温度ソース)

CPU ファン 2 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

CHA_FAN1/WP Switch (CHA_FAN1/WP 切り替え)

CHA_FAN1 またはウォーターポンプモードを選択します。

Chassis Fan 1 Control Mode (シャーシファン 1 制御モード)

シャーシファン 1 向けに PWM モードまたは DC モードを選択します。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 1 Setting (シャーシファン 1 設定)

シャーシファン 1 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (パフォーマンスモード)] [Full Speed (最高速度)]

Chassis Fan 1 Temp Source (シャーシファン 1 温度ソース)

シャーシファン 1 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象

として設定します。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

CHA_FAN2/WP Switch (CHA_FAN2/WP 切り替え)

CHA_FAN2 またはウォーターポンプモードを選択します。

Chassis Fan 2 Control Mode (シャーシファン 2 制御モード)

シャーシファン 2 向けに PWM モードまたは DC モードを選択します。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 2 Setting (シャーシファン 2 設定)

シャーシファン 2 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割り当てることができます。

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (パフォーマンスモード)] [Full Speed (最高速度)]

Chassis Fan 2 Temp Source (シャーシファン 2 温度ソース)

シャーシファン 2 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

CHA_FAN3/WP Switch (CHA_FAN3/WP 切り替え)

CHA_FAN3 またはウォーターポンプモードを選択します。

Chassis Fan 3 Control Mode (シャーシファン 3 制御モード)

シャーシファン 3 向けに PWM モードまたは DC モードを選択します。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 3 Setting (シャーシファン 3 設定)

シャーシファン 3 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割り当てることができます。

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)]

準モード)) [Performance Mode (パフォーマンスモード)] [Full Speed (最高速度)]

Chassis Fan 3 Temp Source (シャーシファン 3 温度ソース)

シャーシファン 3 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

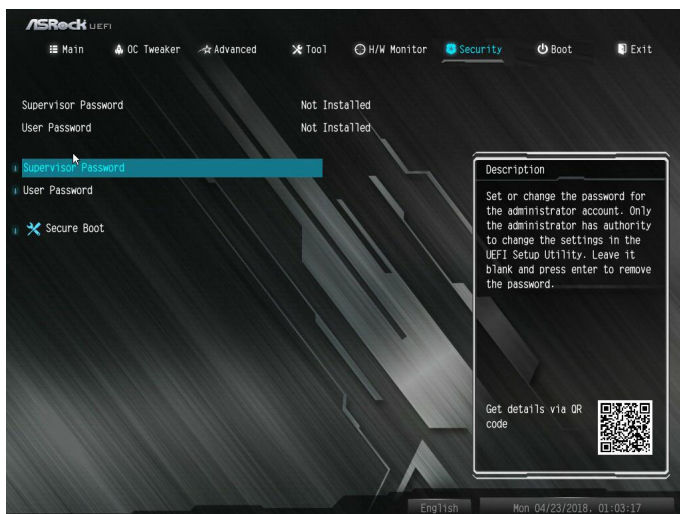
[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Over Temperature Protection (過熱保護)

有効にすると、マザーボードが過熱したとき、システムは自動的にシャットダウンします。

4.7 Security (セキュリティ) 画面

このセクションでは、システムのスーパーバイザーまたはユーザーのパスワードを設定および変更できます。ユーザー パスワードを消去することもできます。



Supervisor Password (スーパーバイザー パスワード)

管理者アカウントのパスワードを設定または変更します。管理者のみに、UEFI セットアップ ユティリティの設定を変更する権限があります。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

User Password (ユーザー パスワード)

ユーザー アカウントのパスワードを設定または変更します。ユーザーは、UEFI セットアップ ユティリティの設定を変更することはできません。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

Secure Boot (セキュア ブート)

Secure Boot (セキュアブート) のサポートを有効にします。

4.8 Boot (ブート) 画面

このセクションは、ブートおよびブート優先順位の設定ができる、システム上のデバイスを表示します。



Fast Boot (高速ブート)

コンピュータのブート時間を最小化します。高速モードでは、USB ストレージデバイスからブートすることはできません。

Boot From Onboard LAN (内蔵 LAN からのブート)

内蔵の LAN でシステムを起動できるようになります。

Setup Prompt Timeout (設定プロンプトのタイムアウト)

ホットキー設定のための待機時間を秒数で指定します。

Bootup Num-Lock (起動時の数値ロック)

起動時にテンキーに数値ロックをかけるかを選択します。

Boot Beep (ブート ビープ音)

起動時にビープ音をならすかを選択します。ブザーが必要になります。

Full Screen Logo (全画面ロゴ)

有効にすると、ブートロゴが表示され、無効にすると通常の POST メッセージが表示されます。

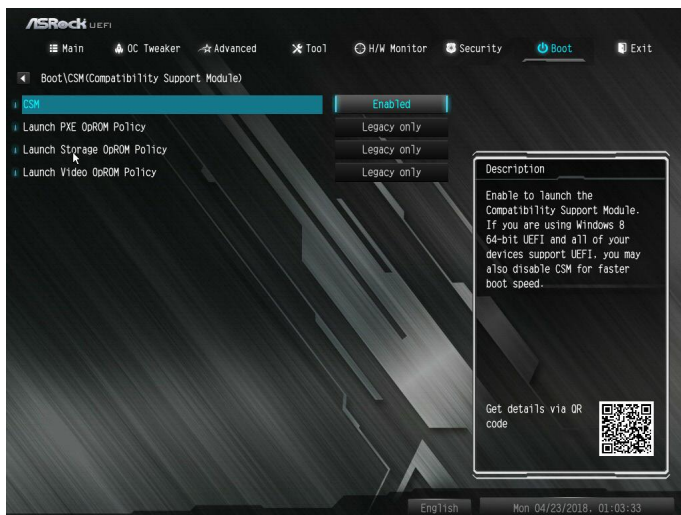
AddOn ROM Display (アドオン ROM 表示)

有効にすると、アドオン ROM メッセージが表示されます。また [Full Screen Logo (全面ロゴ)] が有効の場合は、アドオン ROM の設定もできます。ブート速度を重視する場合は、無効にします。

Above 4G Decoding (4G を超えるデコーディング)

Above 4G Address Space (4G を超えるアドレス空間) でデコードする 64 ビット対応デバイスを有効または無効にします (システムが 64 ビット PCI デコーディングに対応する場合のみ)。

CSM: Compatibility Support Module (CSM: 互換性サポート モジュール)



CSM

[Compatibility Support Module (互換性サポート モジュール)] を起動します。WHCK テストを実行している場合以外は、無効にしないでください。

Launch PXE OpROM Policy (PXE OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only (UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Legacy only (レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch (開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と

UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

Launch Storage OpROM Policy (ストレージ OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only (UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Legacy only (レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch (開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

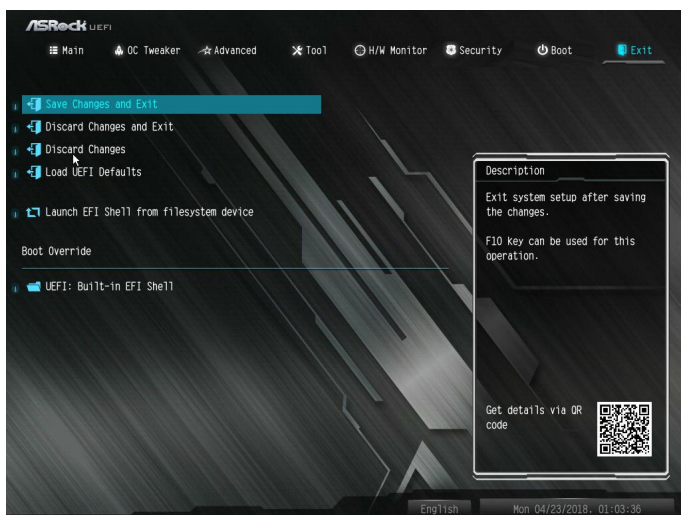
Launch Video OpROM Policy (ビデオ OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only (UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Legacy only (レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch (開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

4.9 Exit (終了) 画面



Save Changes and Exit (変更を保存して終了)

このオプションを選択すると、「Save configuration changes and exit setup? (設定の変更を保存して設定を終了しますか?)」というメッセージが表示されます。変更を保存してUEFI セットアップ ユーティリティを終了するには、[OK] を選択します。

Discard Changes and Exit (変更を保存しないで終了)

このオプションを選択すると、「Discard changes and exit setup? (設定の変更を保存しないで終了しますか?)」というメッセージが表示されます。変更を保存することなく、UEFI セットアップ ユーティリティを終了するには、[OK] を選択します。

Discard Changes (変更を破棄)

このオプションを選択すると、「Discard changes? (変更を破棄しますか?)」というメッセージが表示されます。すべての変更を破棄するには、[OK] を選択します。

Load UEFI Defaults (UEFI デフォルトの読み込み)

すべてのオプションで既定値を読み込みます。この操作には <F9> キーをショートカットとして使用できます。

Launch EFI Shell from filesystem device (ファイルシステム デバイスからEFIシェルを起動)

ルート ディレクトリへ shellx64.efi をコピーして、EFI シェルを起動します。

連絡先情報

ASRock に連絡する必要がある場合、または、ASRock に関する詳細情報をお知りになりたい場合は、ASRock のウェブサイト <http://www.asrock.com> をご覧になるか、または、詳細情報について弊社取扱店までお問い合わせください。技術的なご質問がある場合は、<http://www.asrock.com/support/tsd.asp> でサポートリクエスト用紙を提出してください。

ASRock Incorporation

2F., No.37, Sec.2, Jhongyang S. Rd., Beitou District,

Taipei City 112, Taiwan (R.O.C.)

ASRock EUROPE B.V.

Bijsterhuizen 11-11

6546 AR Nijmegen

The Netherlands

Phone:+31-24-345-44-33

Fax:+31-24-345-44-38

ASRock America, Inc.

13848 Magnolia Ave, Chino, CA91710

U.S.A.

Phone:+1-909-590-8308

Fax:+1-909-590-1026